

Kitouinn koiwara
祈祷院・小石原遺跡 1

福岡県八女市祈祷院所在遺跡の発掘調査報告書

八女市文化財調査報告書 第135集

2022

八女市教育委員会

Kitouinn

koisiwara

祈祷院・小石原遺跡 1

福岡県八女市祈祷院所在遺跡の発掘調査報告書

八女市文化財調査報告書 第135集

2022

八女市教育委員会

序

八女市では近年、毎年のように開発に伴う遺跡の発掘調査がなされています。特に、令和2年度は開発に伴う発掘調査件数が10件以上あり、通常の3倍以上発生しました。そのうちの1つが今回報告する祈祷院・小石原遺跡の調査です。

本報告書は、県道久留米立花線の改良工事に伴い、令和元・2年度に行われた八女市祈祷院字小石原に所在する祈祷院・小石原遺跡第1次調査に関し、発掘調査で得られた成果の報告です。

祈祷院・小石原遺跡第1次調査の発掘調査では、弥生時代から古墳時代にかけての石棺墓や溝跡等が発見されました。また、調査地では度重なる洪水の痕跡が確認され、何度も矢部川の洪水被害を受ける中でも人々が暮らしていた状況が伺えます。祈祷院地区は過去にも発掘調査がなされている地域で、今後、周囲の調査成果を足し合わせることで、当時の集落についてより詳しく判明することが期待されます。

その他、八女市域ではこれまでに多くの遺跡の発掘調査がなされており、今後も順次、成果を発掘調査報告書として刊行する予定です。このたび発掘調査報告書を刊行するにあたり、本書が学術的資料として活用されるのはもちろんのこと、文化財の保護や理解普及の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査や報告書作成にあたり、ご協力いただきました地元の方々、並びにご指導・ご助言いただきました方々に心より感謝の意を申し上げます。

併せて、今後も八女市の埋蔵文化財行政にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和4年3月31日

八女市教育委員会

教育長 橋本 吉史

本文目次

1. 調査の経過	1
(1) 調査に至る経緯と経過	1
(2) 調査体制	1
2. 遺跡の位置と環境	3
3. 調査の概要と成果	6
(1) 調査の概要	7
(2) 出土遺構と遺物	7
(3) 総括	18

挿図目次

第1図	祈祷院・小石原遺跡位置図 (S = 1/1, 250, 000)
第2図	祈祷院・小石原遺跡周辺遺跡図 (S = 1/5, 000)
第3図	祈祷院・小石原遺跡調査区位置図 (S = 1/1, 000)
第4図	祈祷院・小石原遺跡遺構配置図 (S = 1/200)
第5図	祈祷院・小石原遺跡1号石棺墓実測図 (S = 1/20)
第6図	祈祷院・小石原遺跡 SK01 実測図 (S = 1/50)
第7図	祈祷院・小石原遺跡 SK02 実測図 (S = 1/50)
第8図	祈祷院・小石原遺跡 SK03・04 実測図 (S = 1/50)
第9図	祈祷院・小石原遺跡 SD01 実測図 (S = 1/50)
第10図	祈祷院・小石原遺跡 SD02 実測図 (S = 1/50)
第11図	祈祷院・小石原遺跡 SD03 実測図 (S = 1/50)
第12図	祈祷院・小石原遺跡2区実測図 (S = 1/50)
第13図	祈祷院・小石原遺跡出土遺物実測図① (S = 1/4)
第14図	祈祷院・小石原遺跡出土遺物実測図② (S = 1/4)
第15図	祈祷院・小石原遺跡出土遺物実測図③ (S = 1/4)
第16図	祈祷院・小石原遺跡出土遺物実測図④ (S = 1/4)
第17図	祈祷院・小石原遺跡出土遺物実測図⑤ (S = 1/4)
第18図	祈祷院・小石原遺跡出土遺物実測図⑥ (S = 1/4)
第19図	祈祷院・小石原遺跡出土遺物実測図⑦ (S = 1/4)

表目次

第1表	祈祷院・小石原遺跡出土遺物観察表
-----	------------------

図版目次

図版 1	祈祷院・小石原遺跡 1	図版 24	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 20
図版 2	祈祷院・小石原遺跡 2	図版 25	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 21
図版 3	祈祷院・小石原遺跡 3	図版 26	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 22
図版 4	祈祷院・小石原遺跡 4	図版 27	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 23
図版 5	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 1	図版 28	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 24
図版 6	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 2	図版 29	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 25
図版 7	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 3	図版 30	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 26
図版 8	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 4	図版 31	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 27
図版 9	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 5	図版 32	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 28
図版 10	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 6	図版 33	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 29
図版 11	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 7	図版 34	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 30
図版 12	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 8	図版 35	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 31
図版 13	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 9	図版 36	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 32
図版 14	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 10	図版 37	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 33
図版 15	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 11	図版 38	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 34
図版 16	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 12	図版 39	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 35
図版 17	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 13	図版 40	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 36
図版 18	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 14	図版 41	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 37
図版 19	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 15	図版 42	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 38
図版 20	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 16	図版 43	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 39
図版 21	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 17	図版 44	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 40
図版 22	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 18	図版 45	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 41
図版 23	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 19	図版 46	祈祷院・小石原遺跡出土遺物 42

例言

- ・本書は八女市が福岡県八女県土整備事務所からの委託を受けて実施した、道路改良工事に伴う発掘調査の報告書である。本報告では令和2・3年度に実施した、八女市祈祷院所在の祈祷院・小石原遺跡第1次調査について報告する。本報告の発掘調査は八女市教育委員会が実施した。
- ・本書の遺構実測図で使用する方位は座標北を基準とする。
- ・本書で使用した遺構実測図は現地調査実施時に、坂本真一氏の指導を受け、発掘担当者の指揮のもと発掘調査参加者で作成した。本書掲載の遺物実測図の作成、遺構実測図および遺物実測図の製図は、令和2～3年度に八女市文化財整理室において、整理作業員が実施した。
- ・本書掲載の写真はすべて甲斐郁が撮影した。
- ・本書の編集は八女市文化振興課職員の助言のもと、甲斐が行った。
- ・本書執筆に際しては、福岡県教育委員会文化財保護課大庭孝夫氏・坂本真一氏、九州歴史資料館の方々のご指導・ご協力を得たことを記して謝意を表す。
- ・発掘調査時の現場図面・写真等の記録類および出土遺物等は八女市教育委員会が保管している。

1. 調査の経過

(1) 調査に至る経緯と経過

祈祷院・小石原遺跡第1次調査地は八女市祈祷院字小石原117-1、119-7・8、120-6に位置する。今回の調査に至る契機は、八女市教育委員会に福岡県の公共事業として、福岡県八女県土整備事務所による県道久留米立花線の改良事業計画が照会されたことである。平成30年12月28日に文化財保護法第94条第1項に基づく埋蔵文化財発掘の通知があり、遺跡への影響の検討を行った。

調査地周辺では、過去にも埋蔵文化財が発見されている箇所が複数あるため、道路工事予定範囲内を対象に試掘・確認調査を実施したところ、埋蔵文化財が発見された箇所があった。今回の事業内容は道路拡幅工事であるため、埋蔵文化財が発見された箇所は発掘調査が必要と思われる旨を福岡県教育委員会に意見具申したところ、県教育委員会より発掘調査の指示があった。

事業者である八女県土整備事務所と八女市は発掘調査の覚書・委託契約書を締結し、道路拡幅予定地の約300㎡の現地発掘作業を実施する運びとなった。

八女市教育委員会では、文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告をし、現地作業は令和元年11月19日から令和2年2月21日にかけて実施した。調査では重機による表土除去後、人力で遺構検出・掘削を行い、遺構実測図の作成、出土遺物の取り上げ、現場写真撮影を行った。

令和2年度も、前年度に引き続き同事業による道路拡幅工事が予定されたため、工事予定範囲の約25㎡を対象に令和2年5月28日、8月26日～28日に試掘・確認調査を実施した。その結果、埋蔵文化財が発見された。対象範囲が狭小であったことから、試掘・確認調査と同時に調査による記録保存に切り替え、範囲内の埋蔵文化財調査を完了した。

整理作業は令和2・3年度に実施し、出土遺物の洗浄・注記・復元・作図および調査時の図面・写真記録の整理を行い、報告書を作成した。

なお、調査地の南側では埋蔵文化財が存在する可能性が高いため、今後の開発の際には細心の注意が必要である。

(2) 調査体制

本報告に掲載する遺跡発掘調査時の調査体制は以下の通りである。

【令和元年度】（現地調査時）

（調査主体）

八女市教育委員会

教育長		橋本 吉史
教育部長		井出 勇一
文化振興課	課長	久間 政幸
同	参事補佐兼文化係長	中川 寿賀子（総括）
同	主 任	永田 寧
同	係 員	檀 佳克
同	係 員	馬渡 洋平（事務担当）
同	係 員	甲斐 郁（調査担当）

【令和2年度】（現地調査時）

（調査主体）

八女市教育委員会

教育長		橋本 吉史
教育部長		原 信也
文化振興課	課長	久間 政幸
同	課長補佐兼文化係主任	深町 明夫（総括）
同	参事補佐兼文化係長	高山 康博
同	係 員	高口 愛（事務担当）
同	係 員	檀 佳克
同	係 員	甲斐 郁（調査担当）

【令和3年度】（本報告刊行時）

（調査主体）

八女市教育委員会

教育長		橋本 吉史
教育部長		原 信也
文化振興課	課長	鶴木 英希
同	課長補佐兼文化振興係長	森田 尚美
同	参事補佐兼文化財係長	
	兼歴史文化交流館係長	片山 あづさ（総括・事務担当）
同	係 員	檀 佳克
同	係 員	甲斐 郁（整理・報告担当）
同	係 員	木原 堯
同	嘱 託	平 俊隆

2. 遺跡の位置と環境 (第1～3図)

八女市は福岡県南部に位置し、南は熊本県、東は大分県と接する。

市域は矢部川水系の上流域から中流域に当たる。矢部川は旧八女市南東部で星野川と合流する。矢部川を境に北が旧八女市域で南が旧立花町域である。

今回報告する祈祷院・小石原遺跡第1次調査地点は八女市街地南東の八女市祈祷院字小石原に所在する。祈祷院地区は、矢部村から流れる矢部川と星野村から流れる星野川が合流する地点から北西側に位置しており、地形は南に向かって下降している。この付近は過去に河川の氾濫が繰り返している地帯である。調査地周辺は、以前より埋蔵文化財が多数存在する地区として知られており、調査地近隣でも地表面で土器片が表面採集された事例がある。

調査地周辺の遺跡を概観すると、調査地の西側約30mに隣接する白石遺跡では、弥生時代から古墳時代の遺物が出土した溝が発見されている。調査地の西側約570mには津江・八升町遺跡が所在しており、弥生時代後期の竪穴住居、掘立柱建物、溝、石棺墓等が発見されている。調査地の東側約450mに所在する高野町遺跡では、弥生時代から古墳時代にかけての竪穴住居、掘立柱建物等の集落跡が発見されている。

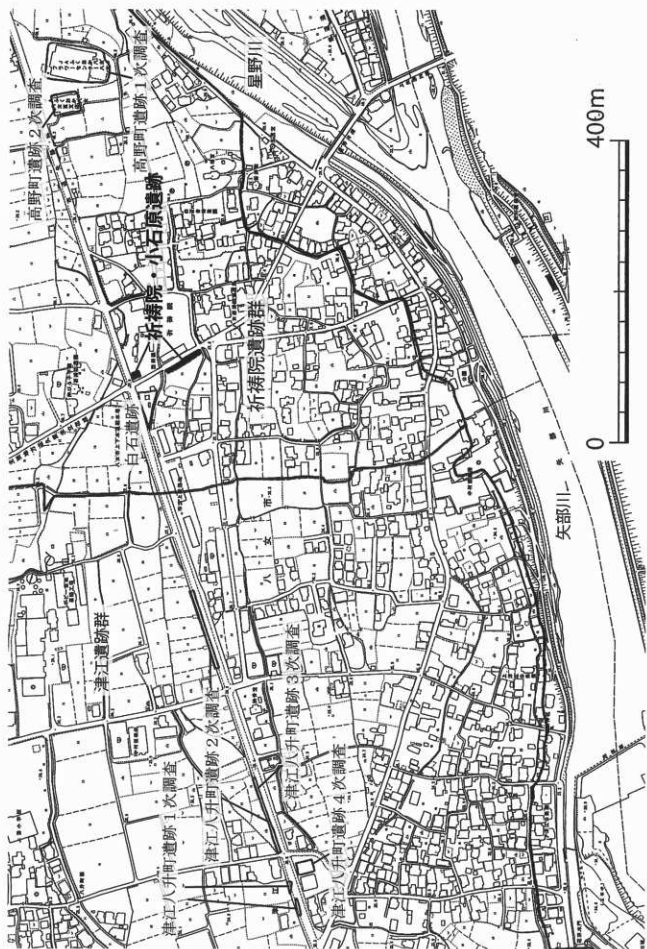
このように、調査地周辺では弥生時代から古墳時代を中心とした遺跡が多数発見されている。

【参考文献】

- ・ 赤崎敏男・中川寿賀子編 1994『高野町遺跡』八女市文化財調査報告書第33集 八女市教育委員会
- ・ 赤崎敏男編 2000『白石遺跡』八女市文化財調査報告書第61集 八女市教育委員会
- ・ 小田和利・赤崎敏男編 2002『津江八升町遺跡（1次・2次・3次調査）』八女市文化財調査報告書第67集 八女市教育委員会
- ・ 中川寿賀子編 2006『高野町遺跡（2次調査）』八女市文化財調査報告書第75集 八女市教育委員会



第1図 祈祷院・小石原遺跡位置図
(S = 1/1, 250, 000)

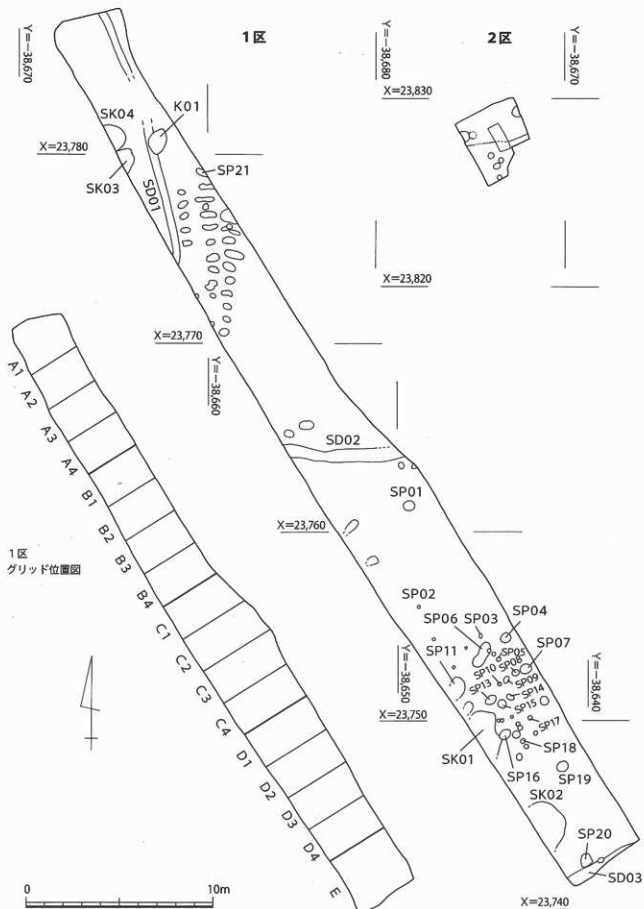


第2図 折禱院・小石原遺跡周辺遺跡図 (S = 1/5, 000)



第3図 祈禱院・小石原遺跡調査区位置図 (S = 1/1, 000)

X=23,790



第4図 祈禱院・小石原遺跡遺構配置図 (S = 1/200)

3. 調査の概要と成果

(1) 調査の概要

道路拡幅工事範囲で実施した発掘調査のうち、令和元年度実施箇所を1区、令和2年度実施箇所を2区と設定した(第4図)。

1区では遺構外の出土遺物が多量にあったため、グリッドを設定して取り上げを行った。調査区の中心に任意の南北軸を設定し、12m間隔で北からA～Eの5区画に分け、各区画内を3m間隔で北から1～4の番号を付与し、A1からEまでの計17のグリッドに分けた。遺構外の出土遺物の取り上げはグリッド単位で行い、土層ごとに分けたが層位の判別ができないものはグリッド名のみ区別した。土層確認用に設定したトレンチは、南西壁トレンチに「W」、北東壁トレンチに「E」を付けグリッド名を併記し、その他のトレンチは、グリッド名のみ併記した。

2区では遺構外出土の遺物の取り上げは出土層位での分別を行った。

調査地の基本土層を示すと、1区では地表下約1m(南)～1.3m(北)までが造成盛土層および旧水田土層であり、その直下が黄褐色粘土混じり砂層である。その下位は地表下約110cm(南)～140cm(北)で灰色砂層がある。黄褐色粘土混じり砂層および灰色砂層の上面が遺構検出面である。1区の盛土層は北側が厚く、南側と約30cmの差が生じているが、標高で比べると南北の遺構検出面の比高差は約10cm程度である。灰色砂層の下位に砂層もしくは礫層がある。遺構外の黄褐色粘土混じり砂層・灰色砂層・下位の砂層から弥生時代から古墳時代に属する遺物が出土している。

2区では地表下約190cmまでが造成盛土層および旧水田土層であり、この直下が自然堆積と思われる土層である。その下位地表下約210cmの灰白色粘土混じり土層上面が遺構検出面である。その下位には砂礫層がある。遺物は遺構および灰白色粘土混じり土層から出土した。

現地調査時には、盛土層および旧水田土層までを重機で表土除去を行い、それより下層は人力で遺構検出・掘削を行った。

調査の結果、1区・2区では土坑、石棺墓、溝状遺構、ピットが発見された。遺構と遺物の時期については、弥生時代から古代に属すると思われる。

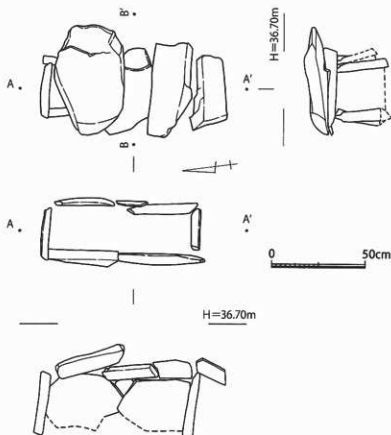
(2) 出土遺構と出土遺物

以下、各遺構と遺物について説明する。

1区の出土遺構と出土遺物

石棺墓：(第5図)

1号石棺墓は1区調査区北側のグリッドA3に位置する小型の箱式石棺である。長軸が南北方向を向く。長さ約85cm、幅約35cm、側壁の高さ約35cm



第5図 祈禱院・小石原遺跡1号石棺墓実測図 (S = 1/20)

である。成人用としては小型のため、小児用であった可能性がある。南北の小口に各1枚の石を使用する。北側小口の石は側壁の外側に出る。北西隅の角は石同士が接触しているが、北東隅の角は、東側壁の石の端部が平坦でなく、隙間が生じている。南側小口では、石は東側壁より外側にあるが、西側壁が南へ飛び出す。側壁は西側で2枚、東側で3枚の石を使用し、4枚の石で蓋がされる。石材は板状に割れた片岩を使用しており、掘り込み等の加工は見られない。石棺設置時の掘方の状況は土層等の検討が困難であり、把握できなかった。試掘・確認調査時の試掘坑の下位で発見されたため、盛土の有無は不明である。内部には黄色粘土ブロックが少量まじる砂が溜まっていた。石棺内部では遺物は発見されなかった。

調査時の不手際により十分な土層観察が行えなかったが、SD01の底面より下位に蓋の上面が位置するため、SD01に切られる可能性がある。

出土遺物がなく時期の特定が困難だが、弥生時代～古墳時代であり、SD01より以前に存在した可能性がある。

土坑 (SK)

1区では総数4基の土坑を確認した。すべて南西壁に接しており調査区外へ続くため、もともとの全体の形状は不明であることから、確認できた範囲について概要を示す。

1号土坑 (SK01) : (第6図・第13図)

SK01は1区調査区南側グリッドD3に位置する。確認できた範囲での長さ約2.5m、幅約1mである。残存する深さは約9cmで非常に浅い。遺構の性格は不明である。

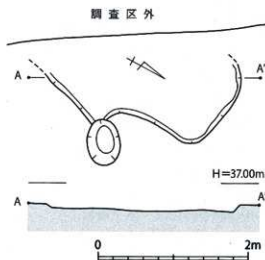
出土遺物を第13図に示す。1・2は弥生土器の甕である。1は口縁部外側の先端が下に垂れ、口縁下端が欠損するが「く」字口縁であったと思われる。2は外面に突帯が貼付される。3は弥生土器の高坏脚部である。ゆるやかに屈曲して裾が広がる形状である。4は弥生土器底部である。

遺物の時期は、弥生時代に属する。

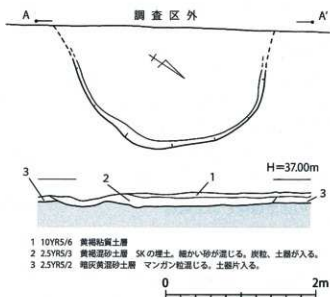
SK01の時期は、弥生時代以降に属すると思われる。

2号土坑 (SK02) : (第7図・第13図)

SK02は1区調査区南端のグリッドEに位置する。確認できた範囲での長さ約2.5m、幅1.6m、残存する深さ約12cmである。埋土は、黄褐色混砂土層でSD03の埋土と類似する細かい砂がまじる他に、炭粒の混入が見られた。遺構の性格は不明である。



第6図 祈禱院・小石原遺跡 SK01 実測図 (S = 1/50)



第7図 祈禱院・小石原遺跡 SK02 実測図 (S = 1/50)

出土遺物を第13図に示す。5は土師器の甕の口縁部で、外面に粗雑なハケメを施す。6は土師器の鉢で外面にタタキ後にナデを施す。7は土師器の鉢もしくは甕の下半部である。内面にケズリを施す。

SK02は土器片がまじる暗灰黄色混砂土層から掘り込まれているため、時期は古墳時代以降に属すると思われる。また、SD03の埋土に類似する砂が混じることから、SD03が埋没した後に存在した可能性がある。

3号土坑 (SK03) : (第8図)

SK03は1区調査区北側のグリッドA3に位置し、SK04と隣接する。確認できた範囲での長さ約1.2m、幅0.7m、残存する深さ約10cmである。埋土は暗褐色砂層である。現地調査での所見からSK04を切る可能性がある。出土遺物はなかった。遺構の性格は不明である。

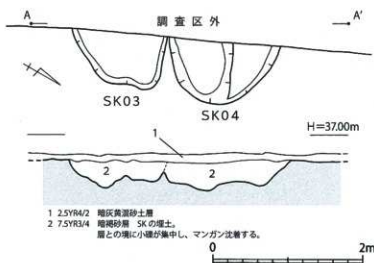
遺物からの時期の特定はできないが、SK04を切るが埋土が類似しているため、SK04と近い時期に存在した可能性が高い。

4号土坑 (SK04) : (第8図・第13図)

SK04は1区調査区北側のグリッドA2～A3に位置し、SK03と隣接する。確認できた範囲での長さ約1.4m、幅約0.8m、残存する深さ約20cmである。埋土は暗褐色砂層である。現地調査の所見からSK03に切られる可能性がある。遺構の性格は不明である。

出土遺物を第13図に示す。8は土師器で甕もしくは広口壺の口縁部である。

遺物の時期は、古墳時代に属する。遺物の出土点数が少なく、遺構の時期を判断することが厳しいが古墳時代以降に属すると思われる。



第8図 祈祷院・小石原遺跡 SK03・04 実測図 (S = 1/50)

溝状遺構 (SD)

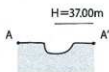
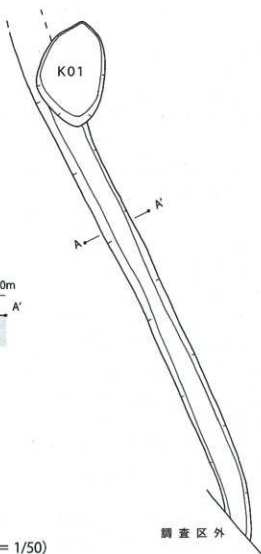
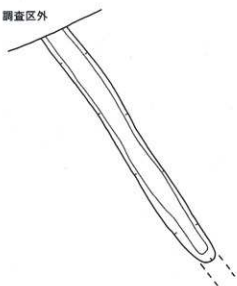
1区では3条の溝状遺構が発見された。すべて両端は調査区外に延びており全長は不明であるため、調査で確認できた長さを記載する。以下に概要を示す。

1号溝状遺構 (SD01) : (第9図・第13図)

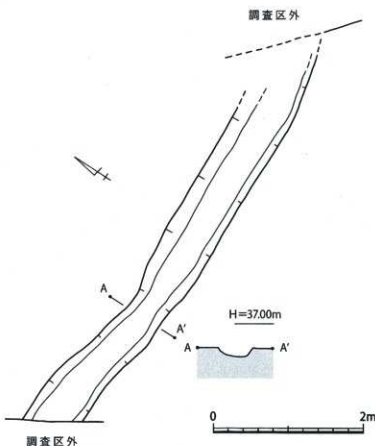
SD01は1区調査区北側のグリッドA1～B1に位置する。南北方向に延びる。長さ約13.7m以上、幅約0.4m、残存する深さ約15cmである。埋土は暗灰黄色の細かい砂層である。

出土遺物を第13図に示す。9～13は弥生土器の甕である。9～11は口縁部である。9は頸部にハケメが残る、口縁部はヨコナデで仕上げられる。11は、内外面で口縁下側がへこむ。口縁端部に刻目が施される。12は胴部で断面台形の突帯が貼付けられる。13は底部で平底である。14～16は弥生土器の壺である。14は口縁端部に刻目を施す。15・16は突帯が貼付される頸部で、15は突帯下端に刻目を施す。17・18は弥生土器の高坏で、17はSP11とD2黄層出土の破片(第18図24)と接合する。18は脚部内面に粘土を充填した痕跡がある。19～21は土師器の甕で、19は口縁部外側の角が突出する。20はハケメの単位が大きい。21は口縁部の先端側が厚い。22は土師器の高

調査区外



第9図 祈祷院・小石原遺跡SD01実測図 (S = 1/50)



第10図 祈禱院・小石原遺跡 SD02 実測図 (S = 1/50)

坏である。23は土師器の鉢で器壁が薄く、内湾口縁である。24は弥生土器の壺である。口縁外側の角が垂れ下がる。25は弥生土器の壺である。

出土遺物の時期は弥生時代～古墳時代である。

SD01は古墳時代の遺物を含む黄褐色粘土混じり土層を掘り込んでいることから、時期は古墳時代以降の可能性が高い。

2号溝状遺構 (SD02) : (第10図・第13図)

SD02は1区調査区中央付近のグリッドC1・C2に位置する。東西方向に延びる。長さ約6m以上、幅約0.7cm、残存する深さ約10cmである。埋土は暗灰黄色の細かい砂層である。

出土遺物を第13図に示す。26は器台形ミニチュア土器である。手握ね成形で、上下の端が薄く広がる。下端の方がやや広がっている。時期は、古墳時代に属する。

SD02は出土遺物の点数が少なく、遺物からの時期判断は困難である。古墳時代の遺物を含む黄褐色粘土混じり土層を掘り込んでいることから、SD02の時期は古墳時代以降の可能性が高い。

3号溝状遺構 (SD03) : (第11図・第13図)

SD03は1区調査区南端のグリッドEに位置する。北東から南西に延びており、両端と南側が調査区外である。長さ約4m以上、幅約0.7m以上、残存する深さは約5cmである。埋土は暗灰黄色の細かい砂層である。

出土遺物を第13図に示す。27は弥生土器の高坏である。28・29は弥生土器の壺である。口縁端部に刻目を有する。29は二重口縁で端部は垂直に立つ。



- 1 10YR5/6 黄褐色粘土層
 - 2 2.5YR5/2 暗灰黄色細かい砂層
 - 3 2.5YR5/2 暗灰黄 混砂土層
- SD03の埋土
マンガン粒が入る。土器片入る。



第11図 祈禱院・小石原遺跡 SD03 実測図 (S = 1/50)

ビット (SP) : (第4図・第13・14図)

1区調査区では72基のビットを発見した。調査区北側のSD01南東に30基、調査区南側に35基が集中する。そのほかに、調査区中央のSD02周辺でも7基のビットを確認した。

北側ビット群

1区調査区北側のSD01南東(グリッドA4～B2)に位置する。SP21を含む30基のビットが南北方向と東西方向に並ぶ。北側・南側は調査区外にも続いていたと思われる。ビットの平面形は北側が最長約1m、幅約25cmの楕円形で、南端は径約40cmの円形になる。残存する深さは5～10cm程である。埋土は黄褐色混砂土層で、SD01の埋土に比べてマンガン粒が多少入る。遺構の性格は不明であるが、列になることから畑の畝であった可能性がある。遺物はほぼ出土していない。

時期の特定は難しいが、SD01と埋土が似ており、近い時期に埋まった可能性がある。

SD02周辺検出のビット・南側検出のビット

SD02周辺で検出したビットは、1区調査区中央付近のグリッドC1～C3に位置する。SP01を含む7基である。遺構の性格は不明である。

南側検出のビットは、1区調査区のグリッドC4～Eに位置し、グリッドD1～D4に集中する。SP02～SP20を含む35基である。グリッドD2の南西壁際に位置するSP11は、他のビットに比べて多くの土器片が出土している。SP11の規模は長さ95cm以上、幅80cm、残存する深さは約28cmである。埋土は黒褐色砂層で黄褐色砂層のブロックが混じるほかに、炭が多く入っていた。

ビット出土遺物 (第13・14図)

第13図30はSP01から出土した陶器で、器形不明であるが小型品の口縁部と思われる。内面の一部に施釉し、白土の上に黄褐色の釉がのる。32はSP04から出土した弥生土器の高坏で端部が平らになる。33～35はSP06から出土した。33は弥生土器の鉢で外面に粗いハケメを行う。34は弥生土器の壺である。35は土師器の高坏である。36はSP08から出土した土師器の甕で、口縁先端を丸く収める。37～43はSP11から出土し、37～39は弥生土器の甕である。38は口縁部内側の角が突出し、口縁内面に粘土がはみ出す。40は弥生土器の高坏で端部の角が突出する。41は弥生土器の壺で口縁部が屈曲する。42は土師器の器台で2か所に方形の透孔が残存するが、もとは3か所であった可能性がある。43は土師器の鉢で内湾する口縁部である。44はSP12から出土した弥生土器の甕である。第14図1はSP14から出土した弥生土器の甕で、屈曲部分の稜線が明瞭である。2はSP16から出土した土師器の甕である。3はSP17から出土した弥生土器の甕である。4・5はSP18から出土した。4は弥生土器の甕で頸部の境目に稜がある。5は弥生土器の壺で口縁端部内側の角が突出する。6はSP19から出土した弥生土器の甕で、SP12出土の土器(第13図44)と類似する。

遺構外出土遺物

1区調査区内の遺構以外から出土した遺物について記述する。

WトレA2 (第14図)

7～20は弥生土器の甕である。7は口縁先端が厚い。8・10は口縁部が先端に向かって厚くなっていく。9は口縁端部外側で角を折り込んだ粘土のつなぎ目が見える。12は口縁部外側の端が垂れ下がり、口縁部と頸部の境目に稜がある。14は口縁部外側の角が下へ垂れ下がりである。15は口縁部と頸部の境目が強いナデのためにへこむ。16は口縁端部が平らで、口縁部と頸部の境目はゆるやかに曲がる。17は口縁部外側の角が突出する。口縁部と頸部の境目は屈曲し明確な稜線がある。18は口縁端部に刻目をつけながら工具を動かした痕跡がある。19は口縁部外側の角が垂れ下がり、口

縁部と頸部の境目に稜線がある。20は突帯を貼付後に刻目をつけ、間に溝をつけることで2条の突帯にしている。21は弥生土器の甕と思われる底部で、やや平らであるが丸底である。

22～33は弥生土器の壺である。22は口縁外側の角が突出する。口縁部と頸部の境目は屈曲し、外面より内面の稜線が明確である。23・24は大型品と思われる。23は口縁部が分厚く、頸部が薄い。24は口縁先端に向かって厚くなり、口縁端部外側の角は垂れる。25は口縁端部が平らで角張る。26は口縁端部に交差する刻目が施文される。27～32は突帯をもつ。27は断面三角形の突帯に切り込みのように刻目がつく。28・30は同一個体の可能性があり、どちらも断面三角形の突帯に刻目がつく。29は頸部に屈曲し、明確ではないが稜線がある。31は突帯が断面四角形で角張る。32は大型の甕で断面台形の突帯に左から右に刻目を施す。32・24は胎土が類似しており、同一個体の可能性がある。33は底部で丸底である。

34～37は弥生土器の高坏である。34・35はどちらも器表面が摩耗気味で、外面口縁端部の下部がへこみ、同一個体の可能性がある。36・37は高坏の脚部である。39は弥生土器の鉢で口縁が直立し、端部が平らである。

40～43は土師器の甕である。40は口縁部が外反する。41は口縁端部の角が外側に突出する。42は口縁端部が厚くなる。44～46は弥生土器の壺である。44・45はやや外傾する口縁部で、46は外反する口縁部で口縁端部外側の角が垂れる。38・47～51は土師器の高坏である。38は脚部片で、端部が平らで角が立つ。47は口縁部小片である。48は脚柱部である。49～51は脚部小片で49・50は端部がやや厚くなり、50は外面に段を持つ。52は土師器の鉢である。53は須恵器の甕で、胎土が赤紫色である。

Wトレ A3 (第15図)

1は土師器の甕で口縁端部直下がへこむ。2～4は弥生土器である。2は鉢で端部の器表面に凹凸がある。3は壺で突帯が残存する。4は壺の底部である。

トレンチ A3 (第15図)

5・6は弥生土器の壺で突帯をもつ。5は突帯断面が三角形、6は突帯断面が四角形である。7・8は弥生土器の高坏である。9は土師器の甕で同一個体と思われる別破片がある。10は土師器の甕で口縁端部が角張る。

A1 (第15図)

11～13は弥生土器である。11は甕で口縁端部は平らで角が立つ。口縁部と頸部の境目に稜がある。12は鉢または高坏で口縁部は短く外側に向かって開く。13は壺で断面三角形の突帯をもつ。

A2 (第15図)

14～16は弥生土器である。14は壺で口縁部が直立し、口径より胴部径が大きくなる。15は甕で口縁端部に刻目がある。16は高坏で端部が厚くなり、内外面に丹塗りが施される。

A3下層 (第15図)

17は土師器の甕で口縁部が外反する。18・19は弥生土器である。18は高坏である。19は鉢で口縁部が短く外に開く。

A3 (第15図)

20は弥生土器の甕で口縁部が外反する。21は弥生土器の高坏脚部もしくは二重口縁壺の口縁部の可能性がある。外面は強いナデが施された部分がへこむ。

A灰層 (第15図・16図)

第15図22～31、33～38・45は弥生土器の甕である。22は口縁内側の端がやや突出する。23は

口縁端部がへこむ。24 は外面の一部に工具の当たった跡がある。26 は口縁端部が平らで角張る。27 は口縁端部がへこむ。28 は口縁端部の内面がへこむ。29 は口縁端部が丸い。32 は口縁端部に刻目があり、口縁外側の端で粘土がやや垂れ下がる。33・34 は 刻目は左から右に施す。35 は口縁部の中間に厚みがあり、頸部が屈曲する。36・37 は内面に明確な稜線がある。38 は扁平な突帯が貼付される。45 は口縁内面がややくぼむ。39～41 は弥生土器の壺である。40 は口縁外側の角が垂れる。42 は弥生土器の鉢で、口縁先端に向かって厚くなる。43 は弥生土器の高坏である。

44・46・48～50 は土師器の甕である。44 は内面にやや段差がある。46 は口縁部が外側へ開く。48 は口縁先端が尖り、口縁と頸部の境が屈曲する。50 は頸部～胴部で頸部に明確な稜線がある。48 と 50 は同一個体の可能性がある。47 は土師器の壺で口縁端部が直立ぎみで下端は屈曲する。

第 16 図の 1～5 は土師器の高坏で、1・2 は高坏脚部の端部である。3 は高坏口縁部である。4・5 は坏部と脚部の接合部で、脚部がすぐに広がる形状である。4 は内面に細い工具で成形した痕がある。5 は内面がくぼむ。6 は小型の把手で、もとの器形は不明である。

Wトレ B1 (第 16 図)

7～9 は弥生土器の壺である。7 は外反する口縁部で頸部が屈曲する。8 は口縁部外側の端がやや垂れ下がる。9 は外反する口縁部で頸部と胴部の境目はゆるやかに曲がる。10 は弥生土器の壺もしくは甕で胴部に刻目を持つ突帯が 2 条巡る。11・12 は土師器の甕である。11 は外反する口縁部である。12 は外傾する口縁部で口径が胴部径より大きい。

トレンチ B1 (第 16 図)

13 は弥生土器の甕の底部で平底である。

Wトレ B2 (第 16 図)

14 は弥生土器の壺で頸部外面に粘土接合痕があり、その部分がへこむ。15 は弥生土器の鉢で外面は粘土の粒の偏りがそのままになる粗い仕上がりである。16 は弥生土器の筒形器台の脚部である。

Wトレ B3 上層 (第 16 図)

17・18 は土師器の甕で同一個体の可能性がある。19 は土師器の高坏で内面の粘土接合部分の仕上がりが丁寧である。20 は器台形のミニチュア土器で下端がやや広く自立する。

Eトレ B3 (第 16 図)

21 は須恵器坏蓋で、外面に稜を持ち、端部がやや尖る。

Wトレ B4 下層 (第 16 図)

22 は土師質の坏蓋で軟質だが須恵器の模倣をしている。端部内面に段差がある。

Wトレ B4 (第 16 図)

23・24 は弥生土器の甕である。24 は口縁端部に「×」字状の文様がつく。

B1 (第 16 図)

25 は弥生土器の器台脚部で内面に被熱痕がある。26 は土師器の甕で、口縁先端が内面肥厚する。

B2 (第 16 図)

27 は弥生土器の壺である。28 は土師器の坏蓋で 22 と比べて器壁が厚い。29 は土師器の甕で口縁部が外反する。

B4 (第 16 図)

30 は土師器の鉢である。31 は弥生土器の壺の突帯であると思われる。

B 黄層 (第 16 図)

32 は弥生土器の甕で平底である。器壁が薄い小型品と思われる。33 は土師器の甕である。口縁先端に向かって厚くなり、内面に粘土接合痕がある。34 は土師器の坏で須恵器を模倣した形状と思われる。内外面にミガキを施す。35 は須恵器の高坏脚部で、長方形の透孔が上下 2 段で 3 か所につき、透孔の上下の間には 2 条の沈線が施される。透孔は内側が狭く、貫通していない部分もある。

Wトレ C1 (第 16 図)

36・37 は弥生土器の甕である。38 は弥生土器の大型の壺で口縁部が直立する。39 は弥生土器の鉢で口縁部先端が厚い。40 は弥生土器の高坏で、脚部外面の坏部との接合部分に刻目とハケメが施される。41・42 は土師器の甕で、41 は直立ぎみの口縁部で、口縁端部の際までハケメを施した後ナデを行う。42 は外反する口縁部で器壁が薄い。43 は土師器の高坏口縁部である。44 はミニチュア土器で器台形であると思われる。SD02 (第 13 図 26) と Wトレ B3 (第 16 図 20) で出土した他の 2 点と比べて胴部にくびれがなく、ナデの痕跡が強い。45 は青磁の椀で口縁端部が外反する。

トレンチ C1 (第 16 図)

46 は須恵器高坏で脚部の 4 か所に透孔がある。透孔は上部しか残存しないが、長方形であった可能性が高い。内面全体に自然釉がかかる。受部部分で復元径が 14.2cm で、口縁部は欠損するが口径は 14.5cm 以上であったと思われる。

Wトレ C2 (第 16 図・17 図)

47 は砥石で台形の上辺側より下辺側が厚くなっている。4 面を使用している。第 17 図 1～4 は弥生土器の甕で、1 は口縁端部の際までハケメを施す。3 は口縁端部の直下内外面に強めのナデを施す。4 は底部で平底である。5・6 は弥生土器の壺で、5 は口縁端部に刻目を左から右に施す。6 は口縁端部に鋸歯文を施し、頸部の下端に強いナデを施す。7 は土師器の高坏で器壁が薄い。

Eトレ C3 (第 17 図)

8～10 は弥生土器の甕で、8 は口縁先端に向かって厚くなる。9 は口縁端部に 2 列の刻目がある。口縁先端がやや内湾する。11 は弥生土器の鉢で、口縁端部に 3 条もしくは 4 条の線を引く。12・13 は土師器の高坏脚部である。

攪乱 C3 (第 17 図)

14 は土師器の高坏脚部である。

Wトレ C4 (第 17 図)

15・16 は弥生土器の甕である。15 は短い「く」字口縁である。16 は底部である。18 は口縁部が直線的に開く。17 は土師器の甕で、口径より胴部径が大きくなる。

C 黄層 (第 17 図)

19～22 は弥生土器の甕で、22 は口縁部と頸部の境目に強いナデを施している。23～26 は弥生土器の壺で、23 は口縁端部外側の角が垂れる。24 は口縁と頸部の境目に強いナデを施す。25 は口縁端部外側の角が突出し、口縁先端が厚くなる。26 は頸部に断面三角形の突帯がつく。27～29 は弥生土器の高坏で、27 は口縁が厚く体部が薄い。28 は坏部下端が欠損するが、強く内湾していく。29 は脚部小片である。30・31 は弥生土器の鉢である。32 は土師器の甕で口縁中間が最も厚くなる。33 は土師器の壺で口縁端部が強く屈曲し、先端が直立する。34 は土師器の鉢で器壁が薄い。35 は土師器の器台で先端に向かって厚みを増す。36～38 は土師器の高坏で 36・37 は口縁部である。38 は高坏脚部で、内面に粘土を接合後に押し付けた痕跡がある。39 は円形の土製品で穿孔される。40 は土師器の甕と思われ、底部に 4 か所の穿孔がある。41 は匙状土製品である。

C砂層 (第17図)

42は弥生土器の甕である。43は土師器の甕で口縁端部直下にハケメの後にヨコナデを施す。44は土師器の高環口縁部である。

WトレD2下層 (第17図)

45は土師器の甕の口縁部である。46は弥生土器の甕である。47は弥生土器の甕で幅広で扁平な突帯をもつ。48・49は弥生土器の高環で、48は端部外面の角が突出する。49は端部付近の外面にヨコナデを施した部分がややへこむ。

WトレD2 (第17図)

50～55は弥生土器の甕の口縁部である。54は直立気味の口縁部である。56は土師器の鉢で口縁部と体部の境目が強く屈曲する。57は土師器の高環脚部である。

トレンチD2黄層 (第17図)

58～60は弥生土器の甕で、58は口縁端部の角が外側へ突出する。59は口縁端部の角が垂れており、口縁部中間が厚い。61は弥生土器の鉢で口縁先端に向かって厚くなる。62は弥生土器の甕で頸部がゆるやかに曲がる。

トレンチD3 (第17図)

63は土師器の器台脚部で端部の角がやや突出する。64は土師器の高環脚部である。

WトレD4 (第18図)

1～3は弥生土器の甕で、1は口縁端部の刻目を左から右に施す。2は口縁端部に浅い斜線文様がつく。3は断面台形の突帯が貼付され狭い間隔で刻目が施される。4・5は土師器の高環で、4は口縁部である。5は脚部内面の接合部に粘土を押し込んだ跡がある。6～9は土師器の甕である。6・7は口縁部小片である。8は口縁部の中間が厚くなる。9は胴部が丸く膨らむ。

D2黄層 (第18図)

10～14は弥生土器の甕である。10～13は口縁部で、13は口縁先端に向かって厚くなる。14は底部である。15は弥生土器の高環で脚部内面に粘土接合痕がある。16・17は弥生土器の鉢で、16は口縁端部外側の角が突出し、17は口縁端部内側の角が突出する。18は土師器の鉢で、口縁部は短く直立する。19は土師器の高環坏部の可能性がある。20・21は土師器の甕の口縁部で、20の口縁端部は丸く、21の口縁端部は外側の角が突出する。22～26は土師器の高環である。22・23は口縁部である。24はSD01とSP11出土の破片(第13図17)と接合する同一個体である。25は端部内外面にナデを施し、その部分がややへこむ。27は須恵器坏身で受部の下側がややくぼむ。

D2 (第18図)

28は土師器の高環で、脚部内面の接合部分で粘土を押し付けているが、段差がある。

D3 (第18図)

29は弥生土器の甕でSP18出土の第14図6と接合する同一個体である。30は土師器の甕で、口縁先端に向かって厚くなる。

E黄層 (第18図)

32～42・44は土師器の甕である。35は頸部が屈曲し明確な稜線がある。37・38は口縁部が外反し、頸部から胴部へはゆるやかに広がっている。39は口縁部が外反し、頸部が屈曲し明確な稜線がある。40は口縁部の中間に厚みがあり頸部が屈曲する。41は内面に粘土接合痕がある。42は弥生土器の甕の底部である。45・46は土師器の鉢である。45は直立する口縁部で、46は内湾する。47・48は土師器の高環である。47は脚部の3か所に透孔をもつ。48は脚部内面に接合後ナデを施して

いる。49～52は土師器の甕である。50と51は同一個体の口縁部と底部の可能性がある。52は把手で、接合部分にハケメを施す。53は土師器の支脚である。54は須恵器杯身である。

トレンチE (第19図)

1は土師器の高環の口縁部であると思われる、体部との接合部分で剥がれている。2は弥生土器の甕で、口縁部が直立し、胴部が丸く広がる。

攪乱 (第19図)

3は弥生土器の甕で断面台形の突帯に刻目がつく。4は弥生土器の甕の口縁部である。5は土師器の甕で口縁端部がつまみ上げられる。6は須恵器甕の口縁部である。

2区の出土遺構と出土遺物

溝状遺構 (SD) : (第12図・第19図)

自然流路と思われる。土層の観察から東西方向に向かって延びると思われるが、調査区内で端が確認できず全体の形状は不明である。残存する深さは約45cmである。ビットを切る。埋土は少なくとも2回に分けて堆積している。

出土遺物を第19図に示す。7は弥生土器の甕で口縁部に刻目を持つ。8は弥生土器の甕で断面台形の突帯に刻目を施す。9・10は土師器の甕である。11は土師器の椀で器壁が薄い。12・13は土師器の高環で、12は穿孔を持つ。13は器壁が薄い脚部である。14は弥生土器の甕の底部である。

ビット (SP) : (第12図・第13図)

7基のビットを確認した。ビットはSDに切られる。

SP02でのみ遺物が出土した(第13図31)。土師器の甕で口縁部が外反する。

2区遺構外出土遺物

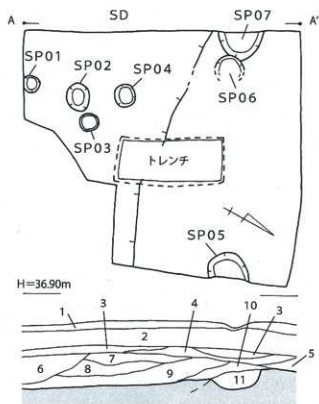
2区調査区の遺構外から出土した遺物について記載する。

2区最下層 (第19図)

15・16は弥生土器の甕である。15は断面四角形の突帯に刻目を施す。16は外傾する口縁部である。17は土師器の高環である。18・19は土師器の環で重なって出土した。20・21は土師器の甕で、20は口縁部が短く直立する。21は胴部である。

2区排土中 (第19図)

22・23は弥生土器の甕で突帯に刻目を施す。24は土師器の環で、18・19に比べて器壁が薄い。25・26は土師器の高環脚部である。



- 1 旧耕作土 灰黄褐色粘土層
- 2 盛土 黄褐色粘土層 遺物・遺構なし。時期不明。
- 3 自然流路 黄褐色粘土まじり砂層 細かい砂層に黄褐色粘土が混じる。
- 4 自然流路 粗砂層 細かい砂の層
- 5 自然流路 灰色砂層 細かい砂の層
- 6 溝の埋土 粗砂層 小石まじりの細かい砂層と細かい砂層が混ざる。遺物なし。時期不明。
- 7 溝の埋土 黄灰褐色砂土層 マンガン分の鉄を含む。層の境目に鉄分が沈着する。
- 8 溝の埋土 黄灰褐色砂土層 マンガンの鉄を含む。層の境目に鉄分が沈着する。
- 9 溝の埋土 灰色砂層 細かい砂の層。鉄が混じる。
- 10 溝の埋土 青灰粘土層 ビットを切る。層の境目に鉄分が沈着する。
- 11 ビットの埋土 灰色粘土層 細かい砂が混じる。炭が入る。弥生土器片を多数含む。

第12図 祈禱院・小石原遺跡2区実測図
(S = 1/50)

(3) 祈祷院・小石原遺跡の総括

以上、祈祷院・小石原遺跡第1次調査に関し報告し、最後に以下では調査内容の要点を述べる。

祈祷院・小石原遺跡は八女市祈祷院字小石原に所在する。調査地は矢部川と星野川が合流する地点の北西にあり、調査地周辺は過去に複数箇所で見掘調査がなされている。今回の発掘調査は、福岡県八女県土整備事務所による県道久留米立花線の改良工事事業に伴う。八女県土整備事務所との協議を行った上で、道路拡幅部分の見掘調査による記録保存を実施した。

令和元年度の調査実施範囲を1区とし、令和2年度の調査実施範囲を2区と設定した。1区では石棺墓1基、土坑4基、溝状遺構3条、ピット72基、2区では溝状遺構1条、ピット7基を発見した。

以下に、各区で特に注目される事柄について記す。

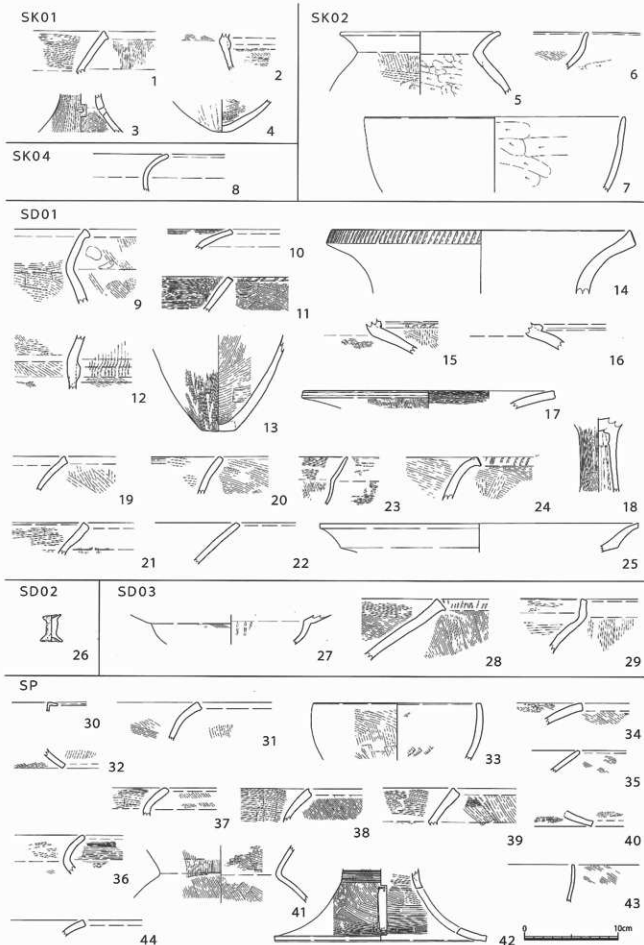
1区では調査区北側で石棺墓が発見された。1号石棺墓は長さ約85cm、幅約35cmの小児用箱式石棺墓であり、蓋石がある状態で発見された。土層の検証が不十分であるが、蓋石の上面がSD01の底面より低い位置にあり、SD01より以前に存在した可能性がある。出土遺物はなく時期の詳細は不明であるが、弥生時代～古墳時代に属すると思われる。石棺墓の上層では、SD01の南東で30基のピットが縦・横方向に並んで発見された。このピット群は埋土の観察結果、SD01と同時期に存在した可能性が高く、畑跡の可能性がある。このことから、石棺墓の埋没後、当該地は畑地として利用されたと思われる。

1区の調査では、表土層下位で幾重にも重なる砂層の堆積が確認され、その中から多数の遺物が出土した。この遺物の中には完形に近いものもあるが、器表面が摩滅する破片が多数である。このことは、調査地が過去に幾度となく起こった洪水被害を受けていた証左である。2区の調査時に1区よりも深い深度での遺物の出土があったため、1区でも下位層中に埋蔵文化財が存在する可能性が高いが、工事による掘削を受けないため現地保存されている。

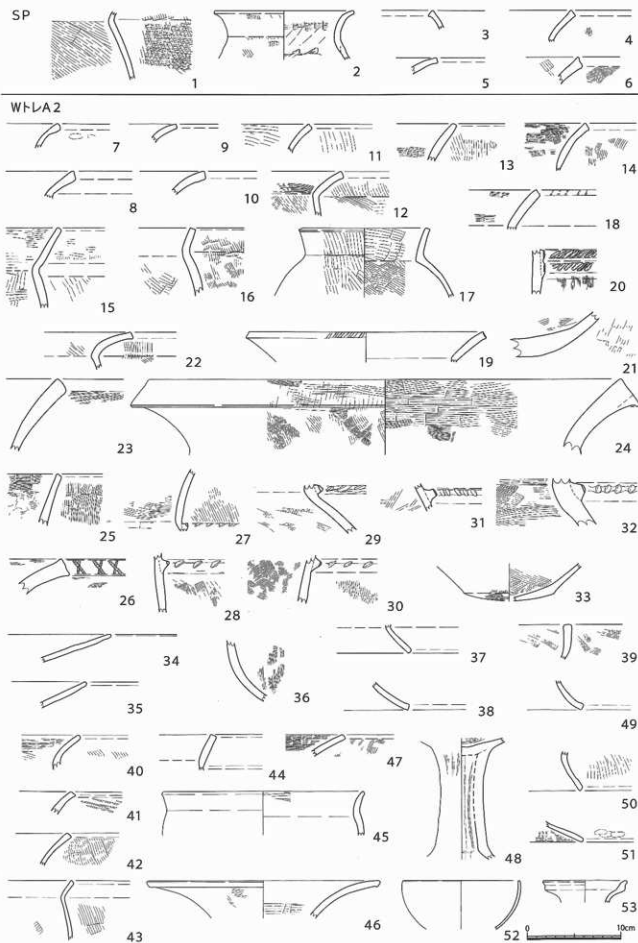
2区では自然流路の一部が発見され、この流路が確認された標高は1区よりも低い。さらに、この流路の下層からも土器がまとまって出土しており、1区で確認した砂層より下位の洪水堆積であると思われる。土層の観察から、2区は旧河道であり、1区は中洲上に位置していたと思われる。1・2区で洪水堆積が確認されており、その洪水砂層下位にも弥生時代から古墳時代の遺構が確認された。

以上の通り、祈祷院・小石原遺跡第1次調査は河川の合流地点付近の中洲上に位置し、矢部方面・星野方面・矢部川下流の3方向からの人々が行き交う交通の要所であった場所に存在する。洪水堆積の下位でも遺構が発見されることから、弥生時代から古墳時代の人々が、幾度もの洪水の危機に瀕しながら矢部川流域の交通の要所という利点を活かしつつ、墓域や集落域を形成し生活をしていった状況が伺える。

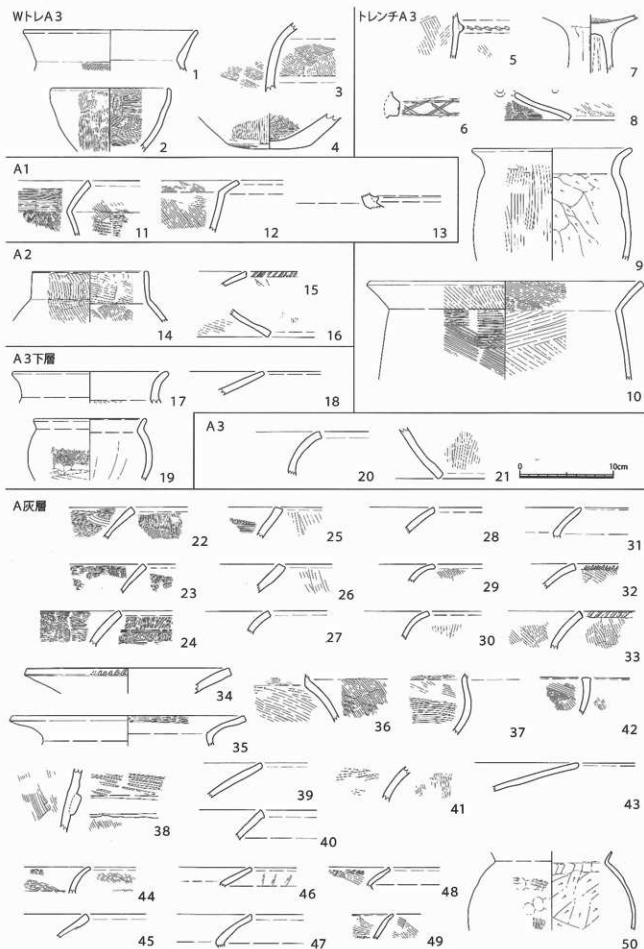
今回の調査では、2区の下位層からも遺物が出土している。しかし、地表面から深い深度での発見であり、調査区が狭小であるため、安全上の観点から、現地保存の対応を取った。1区でも同様に、調査面下位に厚く堆積する洪水砂層の下にも埋蔵文化財が存在する可能性が高い。また、今回の調査地南側にも同様に埋蔵文化財が存在する可能性が高く、遺構・遺物が発見される恐れがあるため今後の開発の際には細心の注意が必要である。



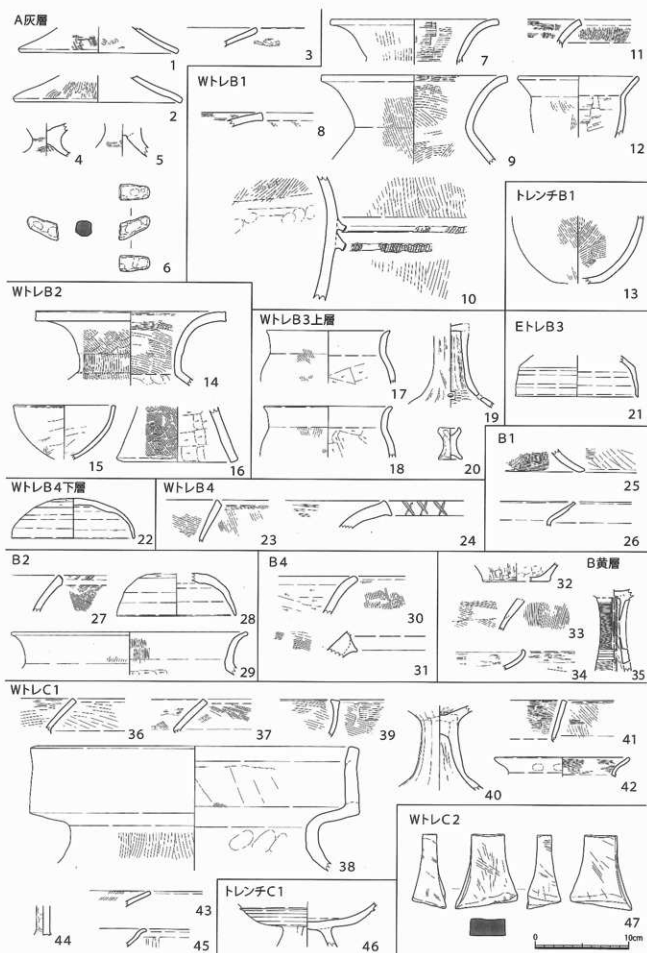
第13図 祈禱院・小石原遺跡出土遺物実測図① (S = 1/4)



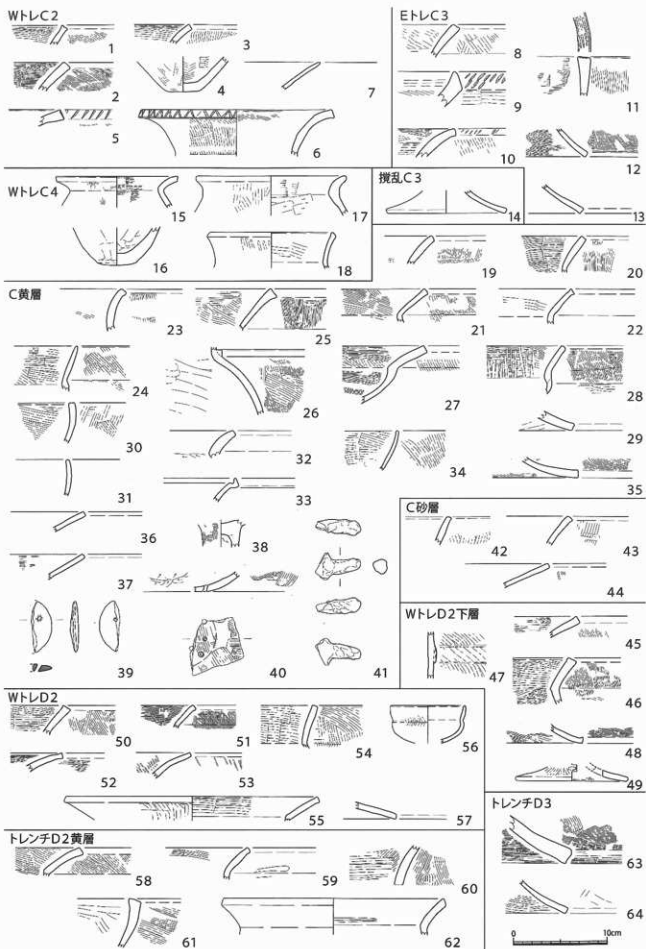
第14図 祈禱院・小石原遺跡出土遺物実測図② (S = 1/4)



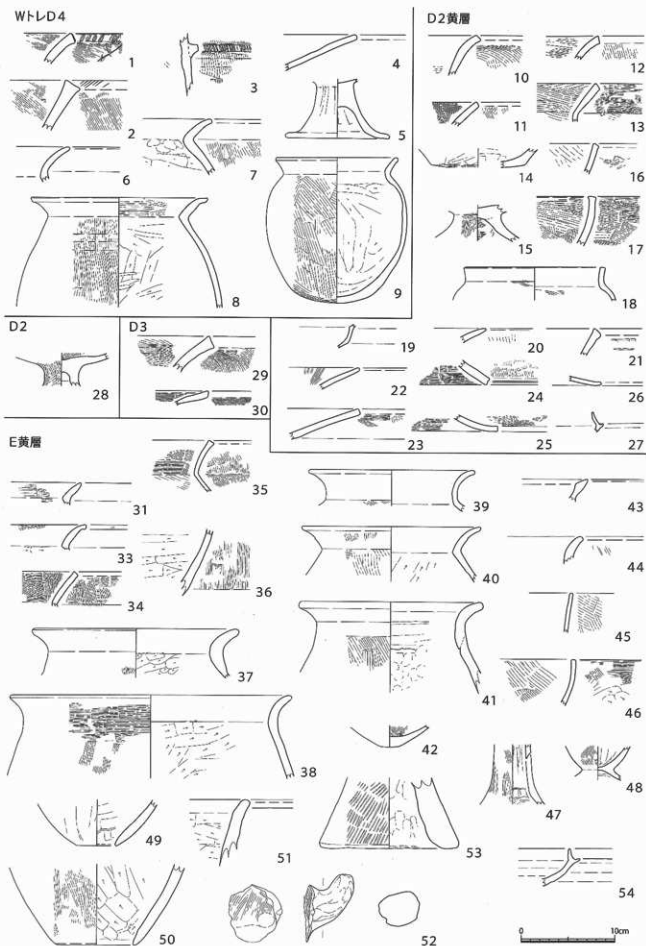
第15図 祈禱院・小石原遺跡出土遺物実測図③ (S = 1/4)



第16図 祈禱院・小石原遺跡出土遺物実測図④ (S = 1/4)

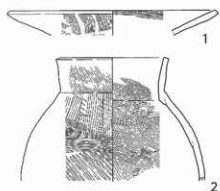


第17図 祈禱院・小石原遺跡出土遺物実測図⑤ (S = 1/4)

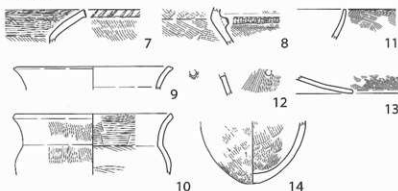


第18図 祈禱院・小石原遺跡出土遺物実測図⑥ (S = 1/4)

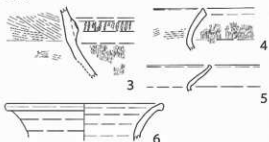
トレンチE



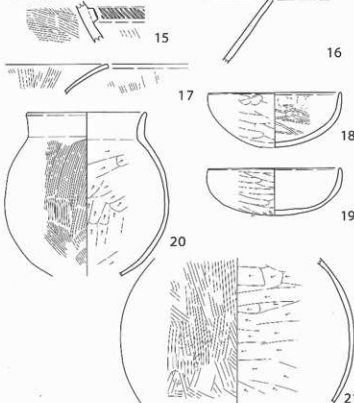
2区下層



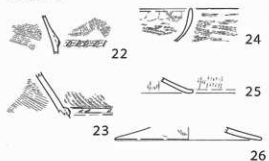
攪乱



2区最下層



2区排土中



第19図 祈禱院・小石原遺跡出土遺物実測図⑦ (S = 1/4)

第1表 祈禱院・小石原遺跡出土遺物観察表

拝観番号	出土 品名	形状	焼成 (外観/内面)	色調	胎土	成形・型取手法等	寸法		備考 (用途・保存等)	発掘 位置
							口径 (底径)	高さ (残高)		
第13001	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(灰黄緑/黄灰黄)	2mm 以下の灰石、石灰、角閃石を多数に含む。	(黄) ココナデ・ハメメ (灰) ココナデ・ハメメ・ナデ	—	(4.8)	口縁部のみ 外面にスス付着	19
第13002	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(灰黄緑/黄灰黄)	2mm 以下の灰石、石灰、角閃石を多数に含む。 5mm 以下の赤褐色胎土を多数含む。	(黄) 輪り付けた後割れず、ハメメ後ミダキ (灰) ナデ・割割して不明	—	(3.8)	口縁部のみ 外面にスス付着	18
第13003	SK01	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄緑/土黄/黄緑)	1mm 以下の灰石、石灰を多数に含む。	(黄) ハメメ (灰) ハメメ・ナデ	—	(4.1)	頸部 1/3 ミダキ	20
第13004	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(土黄/黄緑/土黄/黄緑)	2mm 以下の灰石、石灰、角閃石を多数に含む。	(黄) 土黄ナデ・ナデ (灰) ココナデ・ハメメ・ナデ	(3.2)	(3.4)	底部 1/4 内面にスス付着	21
第13005	SK02	土師器 高杯	軟質	(黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰、角閃石を多数に含む。赤褐色胎土を多数含む。	(黄) ココナデ・ハメメ (灰) ココナデ・黄ミダキ・ヘラミダキ	(16.6)	(6.5)	口縁部 1/5 スス付着	22
第13006	SK02	土師器 高杯	軟質	(黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰を少数含む。	(黄) ナデ後ミダキ (灰) ハメメ後ナデ	—	(4.0)	口縁部のみ 外面にスス付着	23
第13007	SK02	土師器 深鉢もしくは浅口皿	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	4mm 以下の灰石、石灰、角閃石を多数に含む。	(黄) ココナデ・ナデ (灰) ココナデ・ナデ	(28.0)	(6.0)	口縁部 1/9 外面に不規則の付着あり 口縁外側にスス付着	24
第13008	SK04	土師器 深鉢もしくは浅口皿	軟質	(黄/黄)	頸部を含む 片割・赤褐色・角閃石	(黄) ココナデ・ハメメ後ミダキ (灰) ココナデ	—	(3.8)	小片 外面に不規則の付着あり 外面にスス付着	25
第13009	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(灰白/灰)	1mm 以下の灰石、石灰を多数に含む。	(黄) ココナデ・ハメメ (灰) ココナデ・ハメメ	—	(1.8)	口縁部のみ	1
第13010	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	2mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) ココナデ (灰) ココナデ・ハメメ	—	(3.2)	口縁部のみ 外面にスス付着	5
第13011	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) ココナデ・ハメメ・黄ミ (灰) ココナデ・ハメメ・黄ミ	—	(3.7)	口縁部のみ	2
第13012	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰を多数に含む。	(黄) ハメメ (灰) ハメメ	—	(5.7)	頸部のみ	3
第13013	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	4mm 以下の灰石、石灰を多数に含む。	(黄) ハメメ・ナデ (灰) ハメメ・ナデ	—	(10.2)	底部 1/2 外面にスス付着	14
第13014	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	3mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) ココナデ・黄ミ (灰) ココナデ	(31.8)	(6.7)	口縁部 1/5 口縁部 外側に黄褐色 内外不規則	9
第13015	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	2mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) ハメメ・黄ミ付着のみ (灰) ココナデ後ミダキ	—	(3.7)	頸部のみ	10
第13016	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(灰黄緑/黄灰黄)	4.5mm 以下の胎土を含む 片割・黄・赤褐色	(黄) ココナデ・ハメメ (灰) ココナデ・ハメメ	—	(3.8)	小片	26
第13017	SK01	弥生土器 高杯	軟質	(灰黄緑/黄灰黄)	1mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) ココナデ 1 条後ミダキ・ハメメ (灰) ハメメ	(26.6)	(1.8)	口縁部のみ 外面にスス付着	6
第13018	SK01	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	2mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) ミダキ・ハメメ (灰) ナデ・ミダキ	—	(7.8)	スス	12
第13019	SK01	土師器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰、角閃石を多数に含む。	(黄) ココナデ・ハメメ (灰) ココナデ	—	(3.7)	口縁部のみ	4
第13020	SK01	土師器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	2mm 以下の灰石、石灰、結晶片を多数に含む。	(黄) ココナデ・ハメメ後ミダキ (灰) ココナデ・ハメメ後ミダキ	—	(4.0)	口縁部のみ 外面にスス付着	7
第13021	SK01	土師器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1mm 以下の胎土を含む 赤褐色胎土を多数含む。2mm 以下の灰石、石灰、結晶片を多数に含む。	(黄) ココナデ・ハメメ (灰) ココナデ・ハメメ	—	(3.4)	口縁部のみ	8
第13022	SK01	土師器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	頸部を含む 片割・赤褐色	(黄) ココナデ (灰) ココナデ	—	(4.4)	小片 外面に不規則の付着あり	27
第13023	SK01	土師器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	2mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) ハメメ後ミダキ・ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ・ナデ	—	(5.1)	口縁部のみ	11
第13024	SK01	弥生土器 蓋	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰を多数に含む。	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	—	(4.5)	口縁部のみ	13
第13025	SK01	土師器 高杯	軟質	(灰白/灰白)	赤褐色胎土を含む 赤褐色・赤褐色の片割を含む	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	(34.0)	(3.8)	口縁部 1/4	28
第13026	SK02	ミナチュア土器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) 割ナデ・つるみ (灰) 割ナデ・つるみ	上 (2.8) 下 (2.2)	(2.8)	全体 3/4	15
第13027	SK01	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	3mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) ココナデ・ハメメ後ミダキ (灰) ココナデ・ミダキ	—	(3.8)	1/5 外面に黄褐色あり	26
第13028	SK03	土師器 高杯	軟質	(黄/黄)	2mm 以下の灰石、石灰を多数に含む。1mm 以下の結晶片を多数に含む。	(黄) ハメメ後ミダキ後頸部 (灰) ハメメ後ミダキ	—	(6.5)	口縁部のみ	16
第13029	SK03	土師器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	5mm 以下の灰石、石灰、結晶片を多数に含む。	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	—	(6.5)	口縁部のみ	17
第13030	SP01	陶器	硬質	(土黄/黄/土黄/黄)	胴部・頸部	(黄) 割ナデ (灰) 割ナデ	—	(0.9)	小片 内面・黄褐色 白土の上に黄褐色の結晶片あり	29
第13031	SP02	土師器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	頸部を含む 片割・赤褐色	(黄) ナデ・ハメメ (灰) ナデ・ハメメ	—	(4.0)	小片	29
第13032	SP04	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰を少数含む。	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	—	(2.8)	頸部のみ	24
第13033	SP06	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰、結晶片を多数に含む。	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	(17.2)	(6.0)	口縁部 1/5	27
第13034	SP06	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰を少数含む。	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	—	(2.2)	口縁部のみ	28
第13035	SP06	土師器 高杯	軟質	(黄/土黄)	3mm 以下の灰石、石灰を少数含む。	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	—	(2.3)	口縁部のみ 外面に黄褐色・スス付着あり	25
第13036	SP08	土師器 高杯	軟質	(黄/土黄)	2mm 以下の灰石、石灰を多数に含む。	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	—	(4.1)	口縁部のみ 外面にスス付着	28
第13037	SP11	弥生土器 高杯	軟質	(灰白/土黄/黄)	2mm 以下の灰石、石灰、角閃石を多数に含む。	(黄) ハメメ・ミダキ (灰) ハメメ・ミダキ・ナデ	—	(3.8)	口縁部のみ	30
第13038	SP11	弥生土器 高杯	軟質	(黄/土黄)	1mm 以下の灰石、石灰を多数に含む。	(黄) ハメメ・ミダキ (灰) ハメメ・ミダキ	—	(1.6)	口縁部のみ スス付着	32
第13039	SP11	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄)	1mm 以下の灰石、石灰を多数に含む。	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	—	(3.8)	口縁部のみ 外面に黄褐色あり	34
第13040	SP11	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄)	2mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) ハメメ・ミダキ (灰) ハメメ・ミダキ	—	(1.6)	頸部のみ	33
第13041	SP11	弥生土器 高杯	軟質	(黄/土黄)	1mm 以下の灰石、石灰、赤褐色胎土を多数に含む。	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	—	(6.1)	頸部 1/4	35
第13042	SP11	土師器 高杯	軟質	(灰黄緑/黄灰黄)	4mm 以下の灰石、石灰を少数含む。	(黄) ハメメ後ミダキ・黄ミ 3 条後 (灰) ハメメ後ミダキ	(22.6)	(7.7)	頸部 1/4 スス付着	29
第13043	SP11	土師器 高杯	軟質	(灰黄緑/黄灰黄)	1mm 以下の灰石、石灰、角閃石を多数に含む。	(黄) ハメメ後ミダキ・ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ・ミダキ	—	(3.8)	外面に不規則の付着あり	25
第13044	SP12	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	3.5mm 以下の胎土を含む 片割・黄・赤褐色	(黄) ミダキ・ナデ (灰) ミダキ・ナデ	—	(1.7)	小片	29
第14001	SP14	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	2mm 以下の灰石、石灰、角閃石、結晶片を多数に含む。	(黄) ミダキ後ミダキ (灰) ミダキ後ミダキ	—	(7.2)	頸部のみ	36
第14002	SP16	土師器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1mm 以下の胎土を含む 赤褐色胎土を多数含む。	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	(14.8)	(6.2)	頸部 1/5 黄褐色あり	37
第14003	SP17	弥生土器 高杯	軟質	(土黄/黄/土黄/黄)	1.5mm 以下の胎土を含む 片割・黄・赤褐色	(黄) ハメメ後ミダキ (灰) ハメメ後ミダキ	—	(2.8)	小片	29

昇進番号	出立 場	形態	焼成 (外装/内装)	胎土	成形・型取手段等	寸法 (口径/底径) (高さ)	重量 (概算)	備考 (経年・保存等)	宝庫 番号
第15001	Wトレ A3	土師器 素	灰質 (土・灰・黄/黄)	1mm以下の砂粒を多く含む 灰質・黄石を多く含む 黄褐色の少量混入	(灰) ハケメ後ヨコナデ・ハケメ (内) ヨコナデ	(18.6)	(4.3)	口縁部1/8 外縁スス付	B-201
第15002	Wトレ A3	灰土師 素	灰質 (灰黄/黄)	2mm以下の灰石・黄石・角 閃石・黄砂を少量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	(12.3)	(6.7)	口縁部1/8	171
第15003	Wトレ A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	1mm以下の灰石・黄石を含む	(灰) ハケメ・ヨコナデ (内) ハケメ	—	(7.3)	口縁部小片	170
第15004	Wトレ A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	1mm以下の灰石・黄石を含む	(灰) ハケメ後ナデ (内) ハケメ	—	(3.8)	底部1/2	172
第15005	Wトレ A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/黄)	1mm以下の灰石・黄石・赤 色砂粒を少量含む	(灰) ヨコナデ・灰付黄泥等の混入・ハケメ (内) ヨコナデ	—	(4.9)	底部小片	228
第15006	Wトレ A3	灰土師 素	灰質 (黄/黄)	2mm以下の灰石・黄石・鉄 屑・黄砂を含む	(灰) 細粒の黄泥・灰・黄砂・黄泥 (内) 黄泥のハナシ	—	(3.8)	突部小片	229
第15007	Wトレ A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石を含む	(灰) ヨコナデ・エタナデ・ナデ (内) ハケメ	—	(6.2)	縁部底面	230
第15008	Wトレ A3	灰土師 素	灰質 (黄/黄)	1mm以下の灰石・黄石・赤 色砂粒を少量含む	(灰) マメタ・ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.2)	縁部小片	231
第15009	Wトレ A3	土師器 素	灰質 (黄/黄)	5mm以下の灰石・黄石・赤 色砂粒を少量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ヨコナデ	(18.8)	(11.8)	口縁部1/8	227
第15010	Wトレ A3	土師器 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石を含む	(灰) ハケメ・タナキ・ヨコナデ (内) ヨコナデ	(28.7)	(10.4)	口縁部1/8 スス付	228
第15011	A1	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石・角 閃石を少量含む	(灰) ハケメ・ヨコナデ・タナ後ハケメ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(5.8)	口縁部小片	39
第15012	A1	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	5mm以下の灰石・黄石・鉄 屑を少量含む	(灰) マメタ・ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(5.5)	口縁部小片	40
第15013	A1	灰土師 素	灰質 (黄/黄)	縁部から 片・角閃石・赤色砂	(灰) ヨコナデ (内) ナデ	—	(1.7)	小片 外面に不規則の付着あり	B-131
第15014	A2	灰土師 素	灰質 (灰黄/黄)	2mm以下の灰石・黄石・黄 砂を少量含む	(灰) ヨコナデ後ハケメ (内) 縁部スス付ハケメ・ヨコナデ・ハケメ	(11.1)	(5.3)	口縁部1/8	42
第15015	A2	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石を少 量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ・黄泥 (内) ヨコナデ	—	(1.6)	口縁部小片 外面に不規則	41
第15016	A2	灰土師 素	灰質 (黄/黄)	1mm以下の灰石・黄石を少 量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ナデ・ヨコナデ	—	(2.8)	縁部小片 外面に不規則	43
第15017	A3 下	土師器 素	灰質 (黄/黄)	8mm以下の灰石・黄石・赤 色砂粒を少量含む	(灰) ヨコナデ (内) 土師器後ヨコナデ・ハラケナ	(16.2)	(3.5)	口縁部1/8	46
第15018	A3 下	灰土師 素	灰質 (黄/黄)	砂粒を多く含む 灰質・黄石	(灰) ナデ (内) ナデ	—	(2.5)	小片	8-2
第15019	A3 下	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	1mm以下の灰石・黄石・角 閃石を少量含む	(灰) ハケメ・エタナデ・タナ後ハケメ (内) ハケメ後ヨコナデ・ヨコナデ	11.8	(6.6)	口縁部1/8 底面あり	45
第15020	A3	灰土師 素	灰質 (灰黄/黄)	2mm以下の砂粒を含む 片・角閃石	(灰) ヨコナデ (内) ヨコナデ	—	(4.6)	小片	B-100
第15021	A3	灰土師 素	灰質 (黄/黄)	1mm以下の灰石・黄石を多 量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ナデ・ハナシ	—	(5.4)	縁部小片	44
第15022	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	1mm以下の灰石・黄石を多 量含む	(灰) ハケメ・ヨコナデ (内) ハケメ	—	(3.6)	口縁部小片	57
第15023	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	5mm以下の灰石・黄石・角 閃石・鉄屑を少量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.1)	口縁部小片	56
第15024	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石・角 閃石を少量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.7)	口縁部小片	53
第15025	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	1mm以下の灰石・黄石を多 量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.2)	口縁部小片 外面に不規則	54
第15026	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の砂粒を含む 片・角閃石・赤色砂	(灰) ヨコナデ (内) ヨコナデ	—	(3.0)	小片	B-107
第15027	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/黄)	1.5mm以下の砂粒を含む 片・角閃石・黄石	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ヨコナデ	—	(2.4)	小片	B-108
第15028	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2.5mm以下の砂粒を含む 片・角閃石・黄石・黄泥	(灰) ヨコナデ (内) ヨコナデ	—	(2.8)	小片	B-103
第15029	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	4mm以下の砂粒を多く含 む。片・角閃石・黄石	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ヨコナデ	—	(1.9)	口縁部小片 外面にスス付	B-6
第15030	A3	灰土師 素	灰質 (灰黄/土・灰・黄)	1.5mm以下の砂粒を含む 片・角閃石・黄石・黄泥 灰土師を少量含む 黄泥・黄石・黄石・赤色砂 黄泥を含む	(灰) ナデ・ハケメ (内) ナデ	—	(3.0)	小片 外面に暗褐色の物質が 付着する	B-101
第15031	A3	灰土師 素	灰質 (黄/黄)	3mm以下の砂粒を多く含む 灰石・黄石・黄砂・黄泥	(灰) ヨコナデ (内) ヨコナデ	—	(3.2)	口縁部小片	B-1
第15032	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石を少 量含む	(灰) ヨコナデ後ナデミ (内) ハケメ	—	(2.8)	口縁部小片	52
第15033	A3	灰土師 素	灰質 (灰黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石・角 閃石を少量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ナデミ	—	(4.0)	口縁部小片 外面にスス付	58
第15034	A3	灰土師 素	灰質 (灰黄/土・灰・黄)	2mm以下の砂粒を多く含む 灰石・黄石・黄砂・黄泥	(灰) ナデ・ヨコナデ (内) ナデ	(21.5)	(2.7)	口縁部1/8 外面に左から右に黄 泥の。外面に黄泥あり。	B-5
第15035	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	3mm以下の灰石・黄石・赤 色砂粒を少量含む	(灰) ヨコナデ (内) ハケメ・ヨコナデ	(24.6)	(3.2)	口縁部1/8	48
第15036	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石・黄 砂を少量含む	(灰) タナ後ハケメ (内) ハケメ	—	(5.4)	縁部 小片 外面にスス付	52
第15037	A3	灰土師 素	灰質 (灰黄/土・灰・黄)	1mm以下の灰石・黄石を少 量含む	(灰) マメタ・ナデ (内) ハケメ	—	(6.5)	縁部1/8	85
第15038	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2.5mm以下の砂粒を多く含む 灰石・黄石	(灰) タナ後ハケメ・ハケメ (内) ハケメ	—	(6.7)	小片	B-26
第15039	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石を少 量含む	(灰) マメタ (内) ヨコナデ	—	(3.6)	口縁部小片	53
第15040	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の砂粒を含む	(灰) ヨコナデ (内) ヨコナデ	—	(3.2)	小片	B-108
第15041	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石・角 閃石・黄砂を少量含む	(灰) ハケメ (内) ハケメ	—	(3.7)	口縁部小片	51
第15042	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石・黄 砂・赤色砂を少量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.9)	口縁部小片	54
第15043	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の砂粒を含む 灰石・黄石・黄砂	(灰) ヨコナデ・ハケメ後ナデ (内) ナデ	—	(3.0)	小片 口縁部縁部 外面に黄泥・暗褐色 の物質付着	B-3
第15044	A3	灰土師 素	灰質 (灰黄/土・灰・黄)	1mm以下の灰石・黄石を多 量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ・スス付 (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(2.8)	口縁部小片 外面にスス付	55
第15045	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	3mm以下の砂粒を含む 片・角閃石・赤色砂	(灰) ヨコナデ・黄泥 (内) ヨコナデ	—	(3.6)	小片	B-106
第15046	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石・片 角閃石を少量含む	(灰) ヨコナデ (内) ヨコナデ	—	(2.1)	口縁部小片 外面に赤色砂	50
第15047	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の砂粒を含む 片・角閃石・赤色砂・黄泥	(灰) ヨコナデ (内) ヨコナデ	—	(3.8)	小片	B-102
第15048	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	2mm以下の灰石・黄石を多 量含む	(灰) ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.5)	口縁部小片 47と同一個体の可能性 あり	49
第15049	A3	灰土師 素	灰質 (土・灰・黄/土・灰・黄)	1mm以下の灰石・黄石を少 量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.0)	口縁部小片	59

調査番号	出土 地点	器形	用途	土質 (外周/内周)	胎土	成形・整形方法	寸法		備考 (注記・写真等)	実測図 番号	
							口径 (口径)	高さ (厚み)			
第100096	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(灰黄緑/土に黄)	3mm 以下の灰石・石炭・黒炭片を多数に含む	(外) 面割や・ナメテハケム・ナデ・コナデ (内) コナデ・ヘラツクリ加工ナデ	—	(8.3)	底面 1/4 45°斜め削り付の可能性あり	47	
第100097	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	粘土に砂粒が少なく 灰炭・黒石を含む	(外) 土ぎき (内) 土ぎき (底) ナデ	—	(17.0)	(2.8)	底面 1/5	R-4
第100098	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	6mm 以下の砂粒を含む 下層・黒炭片	(外) 土ぎき (内) ナデ	—	(18.0)	(2.8)	底面 1/5 上と下縁部	R-104
第100099	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(黄/黄)	2mm 以下の砂粒を含む 片層・角閃	(外) 土ぎき (内) ナデ	—	(2.0)	小片	R-7	
第100100	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭・黒炭片を多数に含む	(外) マメテ・ハケム (内) ナデ・工具痕跡コナデ	—	(3.4)	側面 5/6	底	
第100101	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を少量含む	(外) ナデ・ハケム (内) ナデ	—	(3.4)	側面 3/4	底	
第100102	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄)	(外) 面割や	(外) 面割や	—	(3.4)	側面 3/4	底	
第100103	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	2mm 以下の灰石・石炭・黒炭片・黄炭を含む	(外) マメテ・ハケム・コナデ (内) ハケム・コナデ	(17.4)	(5.8)	口縁部 1/8	底	
第100104	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭・黒炭片を含む	(外) ハケム・コナデ (内) ハケム	—	(1.5)	口縁部 小片	底	
第100105	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	2mm 以下の灰石・石炭・角閃石を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	(18.7)	(9.4)	口縁部 小片	底	
第100106	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	5mm 以下の灰石・石炭・黒炭片・黄炭を含む	(外) ハケム・コナデ・コナデ (内) 面割や・コナデ・コナデ	—	(13.1)	側面 小片	底	
第100107	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	2mm 以下の灰石・石炭・黒炭片を含む	(外) ハケム・コナデ (内) ハケム・コナデ	—	(3.0)	口縁部 小片	底	
第100108	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	3mm 以下の灰石・石炭・角閃石・黒炭片・赤色砂子を含む	(外) ハケム・コナデ・コナデ (内) ハケム・コナデ	(12.4)	—	口縁部 1/8 スズ付	底	
第100109	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) ハケム・ハケム・コナデ (内) コナデ・ナデ	(5.5)	(7.1)	底面 2/5 黒炭あり	底	
第100110	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	2mm 以下の灰石・石炭・角閃石を含む	(外) コナデ・ハケム (内) ハケム・コナデ	(20.1)	(7.8)	口縁部 1/5	底	
第100111	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	5mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) 土ぎき・コナデ (内) 土ぎき・コナデ	(10.4)	(5.8)	口縁部 1/8	底	
第100112	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭・角閃石・黒炭片・黄炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	(11.4)	(5.8)	底面 1/6	底	
第100113	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	5mm 以下の灰石・石炭・黒炭片を含む	(外) ハケム・コナデ (内) 土ぎき・コナデ	(13.2)	(5.5)	口縁部 1/8 口縁と同一	底	
第100114	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	2mm 以下の灰石・石炭・赤色砂子を含む	(外) コナデ・コナデ (内) コナデ・コナデ	(13.2)	(5.3)	口縁部 小片	底	
第100115	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) ハケム・マメテ (内) マメテ・ハケム	—	(8.8)	側面 3/4	底	
第100116	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の砂粒を含む 片層	(外) 面割や (内) 面割や	(2.2)	(3.3)	側面 3/4	底	
第100117	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	3mm 以下の灰石・石炭・黒炭片を含む	(外) 面割や・コナデ・コナデ (内) 面割や・コナデ・コナデ	(13.0)	(4.3)	口縁部 1/5	底	
第100118	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	3mm 以下の灰石・石炭・黒炭片を含む	(外) 面割や・コナデ・コナデ (内) 面割や・コナデ・コナデ	(12.8)	(4.3)	口縁部 1/4	底	
第100119	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(4.4)	口縁部 小片	底	
第100120	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	砂粒を多く含む 片層・灰石	(外) マメテ・コナデ (内) ハケム・コナデ	—	(2.0)	小片	底	
第100121	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	3mm 以下の灰石・石炭・角閃石・黄炭を多数に含む	(外) 土ぎき・コナデ (内) ハケム・コナデ	—	(2.4)	側面 小片 内面に平縁の付着あり	底	
第100122	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ (内) コナデ	—	(2.6)	側面 小片 内面に平縁の付着あり	底	
第100123	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100124	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100125	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100126	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100127	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100128	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100129	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100130	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100131	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100132	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100133	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100134	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100135	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100136	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100137	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100138	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100139	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100140	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100141	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100142	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100143	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100144	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100145	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	
第100146	A 民屋	土師器 高杯	炊飯	(土に黄/黄)	1mm 以下の灰石・石炭を含む	(外) コナデ・ハケム (内) コナデ・ハケム	—	(3.8)	口縁部 小片	底	

採掘番号	地土	産物	地質	色調 (外産/内産)	基土	成形・形状寸法等	寸法		備考 (貯蔵・保存等)	産出数量 号	
							口径 (直径)	断面 (厚さ)			
第16047	Wトレ C2	石炭品 炭石	—	(灰白)	—	—	—	—	長さ 7.8cm 幅 3.6cm 厚さ 1.7cm 断面 1.7cm	R-212	
第17041	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(灰白/に黄/黄緑)	1mm以下の炭石、石英、角 閃石を含む	(灰) 赤コナダ・ハケム (内) ハケム	—	(2.0)	口縁部小片 外側スス付着	196	
第17042	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/に黄/黄緑)	2mm以下の炭石、石英、結 晶片を含む	(灰) ナダ・黄コナダ・コナダ (内) ハケム・コナダ	—	(3.0)	口縁部小片 断面あり	194	
第17043	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(浅黄緑/浅黄緑)	1mm以下の炭石、石英を含む	(灰) 赤コナダ・ハケム (内) コナダ	—	(2.0)	口縁部小片	195	
第17044	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/黄)	1mm以下の炭石、石英を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム	—	(3.7)	断面 1/3 内面	199	
第17045	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/に黄/黄緑)	2mm以下の炭石、石英、結 晶片を含む	(灰) 赤コナダ後緑ハケム・ハケム後コナダ (内) コナダ	—	(1.7)	口縁部小片	198	
第17046	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(灰白/灰白)	4mm以下の炭石、石英、赤 色砂子を含む	(灰) ハケム後コナダ・黄コナダ (内) ハケム後コナダ・黄コナダ	(10.0)	—	(4.0)	口縁部 1/4	197
第17047	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/に黄/黄)	粗砂を含む 片層・赤色砂	(灰) ナダ (内) ナダ	—	(2.0)	小片	R-137	
第17048	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/に黄/黄)	2mm以下の炭石、石英、赤 色砂子を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(3.0)	口縁部小片	195	
第17049	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(灰黄緑/灰黄緑)	1mm以下の炭石、石英、角 閃石、赤色砂子を含む	(灰) ハケム後コナダ・ハケム (内) コナダ・ハケム	—	(3.7)	口縁部小片	136	
第17050	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/に黄/黄緑)	1mm以下の炭石、石英、赤 色砂子を含む	(灰) ハケム・コナダ後緑ハケム (内) ナダ・コナダ後緑ハケム	—	(3.0)	口縁部小片	134	
第17051	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/灰黄緑)	2mm以下の炭石、石英、結 晶片、赤色砂子を含む	(灰) ハケム後コナダ後黄コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(4.1)	口縁部小片	139	
第17052	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(黄/黄)	1mm以下の炭石、石英を含む	(灰) コナダ後ハケム (内) ナダ	—	(2.0)	口縁部小片	138	
第17053	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/灰黄緑)	1mm以下の炭石、石英、赤 色砂子を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(3.0)	断面小片 断面あり	137	
第17054	Wトレ C2	粘土土層 炭石	軟質	(黄/黄)	3.5mm以下の砂を含む	(灰) ママ (内) ママ	(12.5)	—	(2.4)	断面 1/8 断面あり	R-14
第17055	Wトレ C4	粘土土層 炭石	軟質	(灰白/灰白)	2mm以下の炭石、石英、赤 色砂子を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	(12.0)	—	(3.0)	口縁部 1/7	200
第17056	Wトレ C4	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/に黄/黄緑)	2mm以下の炭石、石英、結 晶片、角閃石を含む	(灰) 工上ナダ (内) 工上ナダ	(4.0)	—	(4.0)	断面 1/3	203
第17057	Wトレ C4	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/に黄/黄)	4mm以下の炭石、石英、赤 色砂子を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	(15.0)	—	(4.0)	口縁部 1/8	201
第17058	Wトレ C4	粘土土層 炭石	軟質	(黄/黄)	1mm以下の炭石、石英を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	(13.0)	—	(3.7)	口縁部 1/4	202
第17059	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/灰白)	1mm以下の炭石、石英、角 閃石を多量に含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム・コナダ	—	(3.0)	口縁部小片	74	
第17060	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/に黄/黄緑)	1mm以下の炭石、石英、角 閃石を多量に含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(3.0)	口縁部小片 断面スス付着	79	
第17061	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/に黄/黄緑)	2mm以下の炭石、石英、角 閃石、赤色砂子を多量に含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(3.0)	口縁部小片	75	
第17062	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(灰黄/灰黄)	粗砂を多く含む 石英・炭石	(灰) コナダ (内) ナダ	—	(3.7)	小片	R-125	
第17063	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/灰白)	1mm以下の粗砂を含む 片層	(灰) コナダ・ハケム後コナダ・ハケム 後コナダ・ハケム (内) コナダ・ナダ	—	(4.4)	小片	R-112	
第17064	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/灰黄)	2mm以下の炭石、石英、角 閃石、赤色砂子を多量に含む	(灰) ハケム後コナダ・ナダ (内) ハケム後コナダ・ナダ	—	(4.0)	口縁部小片	76	
第17065	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(灰白/灰白)	1mm以下の炭石、石英、角 閃石を多量に含む	(灰) ナダ・ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(4.0)	口縁部小片	78	
第17066	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(灰白/灰白)	2mm以下の炭石、石英、角 閃石、赤色砂子を多量に含む	(灰) ナダ・工上ナダ・黄コナダ (内) ナダ・工上ナダ・黄コナダ	—	(7.1)	断面小片	80	
第17067	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(灰白/灰白)	1mm以下の炭石、石英、角 閃石、赤色砂子を多量に含む	(灰) ハケム・不定形ナダ (内) ナダ・コナダ	—	(6.1)	口縁部小片	97	
第17068	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/に黄/黄緑)	2mm以下の炭石、石英、角 閃石を含む	(灰) ハケム・ヘリナダ・コナダ (内) ナダ・ヘリナダ・コナダ	—	(5.1)	口縁部小片	77	
第17069	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(浅黄緑/浅黄緑)	2mm以下の炭石、石英、角 閃石を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(2.0)	断面小片 断面あり	82	
第17070	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(黄/黄)	1mm以下の炭石、石英を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(4.0)	口縁部小片	83	
第17071	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(灰白/灰白)	2mm以下の炭石、石英、結 晶片を含む	(灰) ママ (内) ママ	—	(3.0)	口縁部小片	85	
第17072	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(黄/黄)	5mm以下の砂を含む 片層・赤色砂	(灰) コナダ (内) コナダ・ナダ	—	(2.0)	小片 口縁部と内面に不規則 の付着あり	R-113	
第17073	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(浅黄緑/灰白)	粗砂を含む 片層・赤色砂	(灰) 粗砂コナダ (内) 粗砂コナダ	—	(2.5)	小片	R-124	
第17074	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/浅黄緑)	1mm以下の炭石、石英を含む	(灰) コナダ・黄コナダ後ハケム (内) コナダ・黄コナダ後ハケム	—	(4.2)	口縁部小片	84	
第17075	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/に黄/黄)	1mm以下の炭石、石英、角 閃石を多量に含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(2.0)	断面小片	81	
第17076	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/に黄/黄)	砂粒をあまり含まない	(灰) コナダ (内) コナダ	—	(2.1)	小片 断面に不規則の付着あり	R-123	
第17077	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/灰黄)	粗砂を含む 片層	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム	—	(2.7)	小片 断面に不規則の付着あり 内面にスス付着	R-122	
第17078	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(黄/黄)	2mm以下の炭石、石英、赤 色砂子を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(2.0)	断面部あり	96	
第17079	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(黄)	1mm以下の粗砂を含む 片層・石英	ナダ	—	—	長さ 0.3cm 幅 2.15cm 厚さ 0.6cm	R-28	
第17080	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(灰/に黄/に黄)	3.5mm以下の砂を含む 片層・赤色砂・黒色砂	(灰) ナダ (内) ナダ	—	(2.1)	小片 断面で見る穿孔は 4カ所 穿孔のある箇所は 断面の孔が大きい	R-153	
第17081	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/に黄/黄)	2mm以下の炭石、石英、角 閃石、赤色砂を含む	コナダ	—	—	長さ 4.5cm 幅 2.8cm 厚さ 1.4cm 不規則の付着あり	R-150	
第17082	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/に黄/黄緑)	0.5mm以下の粗砂を含む 片層・石英	(灰) ナダ・ハケム (内) ナダ	—	(3.1)	小片 口縁部と内面に不規則 の付着あり 口縁部スス付着	R-11	
第17083	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/に黄/黄)	1mm以下の炭石、石英、角 閃石を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム	—	(3.0)	口縁部小片	95	
第17084	C黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(黄/黄)	粗砂を含む 片層・赤色砂	(灰) ハケム後コナダ (内) コナダ	—	(2.5)	小片	R-121	
第17085	Wトレ D2黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄緑/に黄/黄)	6mm以下の炭石、石英、赤 色砂子を含む	(灰) ハケム後コナダ (内) ハケム後コナダ	—	(2.0)	口縁部小片	223	
第17086	Wトレ D2黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/に黄/黄)	2mm以下の炭石、石英、結 晶片を含む	(灰) ハケム (内) ハケム	—	(4.7)	口縁部小片 スス付着・断面あり	221	
第17087	Wトレ D2黄緑	粘土土層 炭石	軟質	(に黄/黄/に黄/黄)	2mm以下の炭石、石英、結 晶片を含む	(灰) ナダ・黄コナダ後ハケム (内) ナダ	—	(4.0)	断面部あり	224	

陣形番号	出土 位置	器形	焼成	色相 (外観/内観)	装束	成形・装形手法等	寸法		備考 (補綴・欠損等)	実測値 番号
							口幅 (mm)	高さ (mm)		
第170048	Wトレ D下階	弥生土器 高坪	数段	(灰白/浅黄緑)	2mm以下の灰石・石炭・角 閃石・赤色粘土を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(2.5)	口縁部小片 無断あり	222
第170049	Wトレ D下階	弥生土器 高坪	数段	(浅黄緑/浅黄緑)	2mm以下の灰石・石炭・結 晶片・赤色粘土・角閃石を 含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	(11.6)	(1.8)	脚部1/6	235
第170050	Wトレ D2	弥生土器 高坪	数段	(浅黄緑/浅黄緑)	2mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.1)	口縁部小片	206
第170051	Wトレ D2	弥生土器 高坪	数段	(横/にぶい・赤)	2mm以下の灰石・石炭・雲 母を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(2.4)	口縁部小片	207
第170052	Wトレ D2	弥生土器 高坪	数段	(灰黄緑/灰黄緑)	1mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(1.9)	口縁部小片	209
第170053	Wトレ D2	弥生土器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/横)	3mm以下の灰石・石炭・結 晶片・赤色粘土を含む	(灰) ミナギ(マツリ) 横ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.7)	口縁部小片 無断あり	204
第170054	Wトレ D2	弥生土器 高坪	数段	(浅黄緑/浅黄緑)	2mm以下の灰石・石炭・結 晶片を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ・ハケメナデ	(26.6)	(2.5)	口縁部1/10	205
第170055	Wトレ D2	土師器 高坪	数段	(灰黄緑/灰黄緑)	2mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ・ミナギ (内) ナメ後ヨコナデ	(7.8)	—	口縁部1/5	211
第170056	Wトレ D2	土師器 高坪	数段	(横/横)	1mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ヴェノ・ヨコナデ (内) ヴェノ・ヨコナデ	—	(1.8)	脚部小片	210
第170057	Wトレ D2	弥生土器 高坪	数段	(灰白/灰白)	1mm以下の灰石・石炭・角 閃石を含む	(灰) ヨコナデ・ハケメ (内) ハケメ	—	(3.0)	口縁部小片	234
第170058	Wトレ D2	弥生土器 高坪	数段	(灰白/灰白)	装飾を含む 片断・赤色粘土・角閃石	(灰) ナデ (内) ナデ	—	(2.4)	小片	R-138
第170059	Wトレ D2	弥生土器 高坪	数段	(灰黄緑/灰黄緑)	1mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ハケメ (内) ナデ	—	(4.2)	脚部小片	236
第170060	Wトレ D2	弥生土器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	1mm以下の灰石・石炭・角 閃石を含む	(灰) ハケメ・ヨコナデ (内) 工員ナデ	—	(5.2)	口縁部小片	236
第170061	Wトレ D2	土師器 高坪	数段	(にぶい・黄緑)	2mm以下の装飾を含む 片断・赤色粘土・角閃石	(灰) ヨコナデ (内) ナメ・ハケメ	(24.0)	(3.8)	口縁部1/10	R-139
第170062	Wトレ D2	土師器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	2mm以下の灰石・石炭・結 晶片を含む	(灰) ハケメ・ナデ (内) ナデ	—	(5.0)	脚部小片 スス付着	237
第170063	Wトレ D2	土師器 高坪	数段	(横/横)	1mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) 工員ナデ・ヨコナデ (内) ナメ	—	(3.5)	脚部小片	238
第180001	Wトレ D4	弥生土器 高坪	数段	(浅黄緑/浅黄緑)	2mm以下の灰石・石炭・赤 色粘土を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ横切文 (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.2)	口縁部小片	216
第180002	Wトレ D4	弥生土器 高坪	数段	(横/横)	2mm以下の灰石・石炭・赤 色粘土を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(5.3)	口縁部小片	218
第180003	Wトレ D4	弥生土器 高坪	数段	(にぶい・横/にぶい・横)	2mm以下の灰石・石炭・雲 母を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ・装束付帯後頭部・ハケ メ	—	(5.6)	脚部小片	217
第180004	Wトレ D4	土師器 高坪	数段	(横/横)	2mm以下の灰石・石炭・赤 色粘土を含む	(灰) ナメ・ハラナデ (内) ヴェノ・マツリ	—	(3.5)	口縁部小片 無断あり	220
第180005	Wトレ D4	土師器 高坪	数段	(横/横)	1mm以下の灰石・石炭・赤 色粘土を含む	(灰) 工員ナデ・ヨコナデ (内) ナメ	10.7	(8.2)	脚部1/5	219
第180006	Wトレ D4	土師器 高坪	数段	(にぶい・横/にぶい・横)	2mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ヴェノ (内) ヴェノ	—	(3.7)	口縁部小片	215
第180007	Wトレ D4	土師器 高坪	数段	(横/にぶい・横)	2mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ヨコナデ・ハラナデ・装束ナメ	—	(5.9)	口縁部小片 スス付着	214
第180008	Wトレ D4	土師器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	1mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ・ハラナデ	18.4	(11.6)	口縁部1/8	212
第180009	Wトレ D4	土師器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	2mm以下の灰石・石炭・赤 色粘土・雲母を含む	(灰) ナメ後ハケメ・ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	(12.6) 7.9	(18.4)	口縁部1/5 無断あり	213
第180010	D2 黄緑	弥生土器 高坪	数段	(浅黄緑/浅黄緑)	2mm以下の灰石・石炭・赤 色粘土を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(4.2)	口縁部小片	90
第180011	D2 黄緑	弥生土器 高坪	数段	(浅黄緑/浅黄緑)	1mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ヨコナデ横切文 (内) ナメ	—	(2.3)	口縁部小片	87
第180012	D2 黄緑	弥生土器 高坪	数段	(灰黄/浅黄)	2mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(2.5)	口縁部小片	89
第180013	D2 黄緑	弥生土器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	1mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ハケメ (内) ハケメ	—	(4.0)	口縁部小片	88
第180014	D2 黄緑	弥生土器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	2mm以下の灰石・石炭・角 閃石を含む	(灰) 工員ナデ・ハケメ (内) ナメ	—	(2.0)	脚部1/6	100
第180015	D2 黄緑	弥生土器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	2mm以下の灰石・石炭・赤 色粘土を含む	(灰) ナメ (内) ナメ	—	(3.8)	脚部小片	99
第180016	D2 黄緑	弥生土器 高坪	数段	(浅黄緑/横)	2mm以下の灰石・石炭を少 量含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.2)	口縁部小片 内面無断	94
第180017	D2 黄緑	弥生土器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	2mm以下の灰石・石炭・角 閃石を含む	(灰) ヨコナデ・ハケメ (内) ヨコナデ・ハケメ	—	(3.2)	口縁部小片	93
第180018	D2 黄緑	土師器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	4.5mm以下の装飾を多く含む 片断・石炭・角閃石	(灰) ヨコナデ・ハケメ後ヨコナデ (内) ヨコナデ・ハケメ後ヨコナデ	(15.0)	(3.5)	口縁部1/10	R-25
第180019	D2 黄緑	土師器 高坪	数段	(浅黄緑/にぶい・黄緑)	装飾を含む 片断・赤色粘土	(灰) ヨコナデ・装束に付く (内) ヨコナデ	—	(2.4)	小片	R-144
第180020	D2 黄緑	土師器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/浅黄緑)	装飾を多く含む 片断・赤色粘土・角閃石・石炭	(灰) ヨコナデ・ハケメ (内) ヨコナデ	—	(1.5)	小片	R-142
第180021	D2 黄緑	土師器 高坪	数段	(浅黄緑/にぶい・黄緑)	装飾を多く含む 片断・石炭・赤色粘土・角閃石	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ナメ後ヨコナデ	—	(2.8)	小片	R-141
第180022	D2 黄緑	土師器 高坪	数段	(横/横)	装飾を含む 片断・角閃石	(灰) ヨコナデ・ナデ (内) ナメ後ヨコナデ	—	(2.3)	小片	R-143
第180023	D2 黄緑	土師器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	1mm以下の灰石・石炭・赤 色粘土を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.3)	口縁部小片	91
第180024	D2 黄緑	土師器 高坪	数段	(灰黄緑/灰黄緑)	1mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ・装束1条 (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(2.6)	脚部小片	86
第180025	D2 黄緑	土師器 高坪	数段	(にぶい・横)	1mm以下の灰石・石炭を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(1.7)	脚部小片 内面に付着・無断あり	92
第180026	D2 黄緑	土師器 高坪	数段	(横/横)	1.5mm以下の装飾を含む 石炭・赤色粘土・角閃石	(灰) ヨコナデ (内) ヨコナデ・ナデ	—	(1.0)	小片	R-208
第180027	D2 黄緑	土師器 高坪	数段	(灰/灰)	装飾を含む 片断	(灰) 同型ナデ (内) 同型ナデ	—	(2.1)	小片 内面に不規則の付着あり	R-140
第180028	D2	土師器 高坪	数段	(にぶい・横/にぶい・横)	1mm以下の灰石・石炭・雲 母を含む	(灰) ヴェノ・ハケメ (内) ナメ	—	(3.5)	脚部小片	98
第180029	D2	弥生土器 高坪	数段	(灰黄緑/灰黄緑)	2mm以下の灰石・石炭を多 く含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(3.6)	口縁部小片	102
第180030	D2	土師器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/にぶい・黄緑)	1mm以下の灰石・石炭を多 く含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(1.5)	口縁部小片 内面にスス付着	101
第180031	E 黄緑	土師器 高坪	数段	(にぶい・横/にぶい・横)	3.5mm以下の装飾を含む 片断・石炭・角閃石	(灰) ヨコナデ (内) ハケメ	—	(2.5)	小片 装束付着	R-147
第180032	E 黄緑	土師器 高坪	数段	(にぶい・横/にぶい・横)	あまり装飾が入らない	(灰) ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ・ナメ	—	(2.6)	小片 内面に不規則の付着あり	R-148
第180033	E 黄緑	土師器 高坪	数段	(にぶい・横/にぶい・横)	1mm以下の灰石・石炭・雲 母を含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ	—	(3.7)	口縁部小片 内面にスス付着	105
第180035	E 黄緑	土師器 高坪	数段	(にぶい・黄緑/灰白)	2mm以下の灰石・石炭を多 く含む	(灰) ハケメ後ヨコナデ (内) ハケメ後ヨコナデ	—	(5.4)	口縁部小片 内面にスス付着	104

採掘番号	出土 部位	図形	構成 色層 (外層/内層)	粘土	成形・型型字法等	寸法 (口径・底径)	高さ (残存高)	備考 (採掘・保存等)	宝庫番号
第180236	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰白/浅黄緑)	3mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) ハナメ後コナデ (内) ヘラタス後コナデ	-	(7.0)	1線部小片 口縁部欠損	310
第180237	E 東層	土師器 盆	軟灰 (黒/黒)	2mm 以下の長石・石英を含む	(灰) コナデ・ハナメ (内) コナデ後ヘラタス	(31.1)	(5.2)	1線部 1/4	303
第180238	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰黄/浅黄)	5mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) ハナメ後コナデ (内) ハナメ後コナデ	(29.8)	(4.8)	口縁部	312
第180239	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	4mm 以下の長石・石英・角閃石を含む	(灰) ハナメ後コナデ (内) ハナメ後コナデ	(17.0)	(6.2)	1線部 1/6 外面にスリ付	313
第180240	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	5mm 以下の長石・石英を含む	(灰) ハナメ後コナデ (内) コナデ・ヘラタス	(18.8)	-	1線部 1/6	311
第180241	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	5mm 以下の長石・石英を含む	(灰) コナデ後コナデ (内) コナデ後コナデ・種オナデ	(19.0)	(6.6)	1線部 1/6	314
第180242	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰/土黄)	3mm 以下の長石	(灰) ナデ (内) ハナメ	-	(2.2)	底面不規則 底面	317
第180243	E 東層	土師器 盆	軟灰 (黄黄/土黄)	指跡を含む 石英・長石	(灰) コナデ・ハナメ (内) コナデ	-	(2.5)	小片 外面に不規則の付着あり	R-146
第180244	E 東層	土師器 盆	軟灰 (黄黄/土黄)	指跡を含む 石英・長石	(灰) コナデ・ハナメ後コナデ (内) コナデ	-	(2.9)	小片	R-145
第180245	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	3mm 以下の長石・石英を含む	(灰) ハナメ後コナデ (内) コナデ	-	(4.2)	1線部小片 外面に片断あり	309
第180246	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	1mm 以下の長石	(灰) ナデ・ナデ (内) ナデ後コナデ	-	(4.9)	小片	R-149
第180247	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	1mm 以下の長石・石英を含む	(灰) ハナメ後コナデ (内) ナデ・ハナメ	-	(6.3)	線部 底面 3ヶ所	316
第180248	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰/土黄)	3mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) ナデ後コナデ (内) ナデ後コナデ	-	(3.3)	線部 3/4	307
第180249	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰白/灰白)	3mm 以下の長石・石英を含む	(灰) 工具ナデ後コナデ・コナデ (内) 工具ナデ後コナデ・コナデ	(4.0)	-	口縁部 1/4	306
第180250	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	1mm 以下の長石・石英を多量に含む	(灰) コナデ後ハナメ (内) コナデ後コナデ後ヘラタス	-	(7.9)	底面 1/5 上面 1箇所	315
第180251	E 東層	土師器 盆	軟灰 (黄黄/黄黄)	5mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) コナデ・底面 1条 (内) ヘラタス後コナデ	-	(7.0)	1線部 115 と同一	308
第180252	E 東層	土師器 盆 (肥子)	軟灰 (土黄/黄/土黄)	3mm 以下の長石を含む 片断・石英・赤色散子	(灰) ナデ・ハナメ (内) ハナメ	-	-	長さ 6.1mm 幅 5.6mm 厚さ 3.5mm 不規則の付着あり	R-152
第180253	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	3mm 以下の長石・石英・角閃石を含む	(灰) ナメナデ・工具ナデ (内) 底面オナデ後工具ナデ・ナデ	-	(14.6)	底面 1/4	318
第180254	E 東層	土師器 盆	硬灰 (灰白/灰)	1mm 以下の長石を含む 指跡・少量の石英を含む	(灰) 底面ナデ (内) コナデ	-	(4.0)	小片 外面に片断が見える	R-209
第180255	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	1mm 以下の長石・石英を含む	(灰) ハナメ (内) コナデ・ハナメ	(20.7)	-	1線部 1/4 底面あり	309
第180256	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	3mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) ナメのちハナメ後コナデ (内) ハナメ後コナデ	(11.2)	-	1線部 1/2 底面あり	340
第180257	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰白/浅黄)	3mm 以下の長石・石英を含む	(灰) ハナメ・ナデ・底面安部後底面 (内) ハナメ	-	(7.5)	線部小片	243
第180258	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	0.2mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) コナデ・ハナメ (内) コナデ・ハナメ	-	(4.4)	線部小片	341
第180259	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰白/浅黄)	3mm 以下の長石を含む 片断・赤色散子	(灰) コナデ (内) コナデ	-	(2.7)	小片 口縁部と似た形	R-126
第180260	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰白/灰)	2mm 以下の長石・石英を含む	(灰) 底面ナデ (内) 底面ナデ	(16.0)	-	1線部 1/12	242
第180261	E 東層	土師器 盆	軟灰 (黒/黒)	1mm 以下の長石・石英・黒色散子を含む	(灰) ハナメ後コナデ・ナデ (内) ナデ	-	(5.5)	1線部小片	319
第180262	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰黄/土黄)	3mm 以下の長石・石英・角閃石を含む	(灰) 底面ナデ (内) 底面ナデ	-	(4.0)	線部小片	321
第180263	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰黄/土黄)	2.5mm 以下の長石・石英・角閃石を含む	(灰) コナデ (内) コナデ・ナデ	(17.0)	-	1線部 1/8 外面にスリ付	R-20
第180264	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	3mm 以下の長石・石英・角閃石を含む	(灰) ハナメ後コナデ・ナデ (内) ハナメ後コナデ・ナデ	(16.8)	-	1線部 1/8	220
第180265	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	3mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) コナデ・ハナメ (内) コナデ・ナデ	-	(6.2)	線部小片	324
第180266	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	指跡を含む 片断・赤色散子	(灰) ハナメ (内) ハナメ後コナデ	-	(2.3)	小片 線部	R-161
第180267	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	1mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) ハナメ後コナデ (内) コナデ	-	(1.9)	線部小片 外面に片断あり	322
第180268	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	3mm 以下の長石・石英・黒色散子を含む	(灰) ハナメ後コナデ・ナデ・底面 (内) ナメ・底面 (内) ナメ	-	(1.4)	底面不規則 外面にスリ付	323
第180269	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	1mm 以下の長石・石英・角閃石を含む	(灰) コナデ後底面 (内) コナデ後底面	-	(4.4)	線部小片 外面にスリ付	327
第180270	E 東層	土師器 盆	軟灰 (黒/黒)	3mm 以下の長石・石英・黒色散子を含む	(灰) ナメ (内) ナメ	-	(6.9)	小片	R-31
第180271	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	1mm 以下の長石・石英・黒色散子を含む	(灰) ナメ・ハナメ (内) ナメ・ハナメ	-	(3.1)	小片	R-135
第180272	E 東層	土師器 盆	軟灰 (黒/黒)	1mm 以下の長石・石英・黒色散子を含む	(灰) ナメ後コナデ (内) ナメ後コナデ	14.0	-	口縁部 外面に片断あり	329
第180273	E 東層	土師器 盆	軟灰 (黒/黒)	2mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) 不定方向ナデ後コナデ・ハナメ (内) コナデ・不明	14.0	-	底面 底面あり	328
第180274	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰黄/灰黄)	5mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) コナデ・ハナメ (内) コナデ・ハナメ	12.5	(17.3)	口縁部 外面にスリ付	326
第180275	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰黄/灰黄)	1mm 以下の長石・石英を含む	(灰) ナメ後コナデ (内) ハナメ後コナデ	(26.1)	-	線部 1/6 底面あり	325
第180276	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰黄/灰黄)	1mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) ナメ・底面安部 (内) ナメ・底面安部	-	(4.0)	線部小片	330
第180277	E 東層	土師器 盆	軟灰 (灰白/灰白)	1mm 以下の長石・石英を多量に含む	(灰) ナメ・底面安部 (内) ハナメ	-	(4.8)	線部小片	331
第180278	E 東層	土師器 盆	軟灰 (黒/黒)	1mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) ナメ後コナデ (内) ナメ後コナデ	-	(3.5)	線部小片	332
第180279	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	1.5mm 以下の長石・石英・赤色散子を含む	(灰) ハナメ後コナデ (内) ハナメ後コナデ	-	(1.7)	小片	R-204
第180280	E 東層	土師器 盆	軟灰 (土黄/黄/土黄)	4mm 以下の長石を含む 石英・石英・赤色散子	(灰) ハナメ後コナデ (内) ナメ後コナデ	-	(1.4)	線部 1/6	R-22

※採掘番号の末尾は採掘年度である。
※採掘年度は「R」が「0」の前の数字は採掘年度、つかないものは遺跡年度による採掘年度である。
※採掘年度は「R」が「0」の前の数字は採掘年度、つかないものは遺跡年度による採掘年度である。

図 版



(1) 祈祷院・小石原遺跡1区全景（北より）



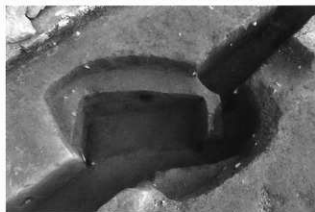
(2) 1号石棺墓蓋検出状況（北西より）



(3) 1号石棺墓蓋取り上げ後の状況（西より）



(4) 1号石棺墓棺内掘削状況（西より）



(5) 1号石棺墓完掘状況（西より）

図版2 祈祷院・小石原遺跡2



(1) 1区北側ビット群検出状況(南西より)



(3) SD01(南より)



(2) SK02(東より)



(4) SD01 北側部分(南西より)



(5) SD01 土層(南より)



(6) SD02(南西より)



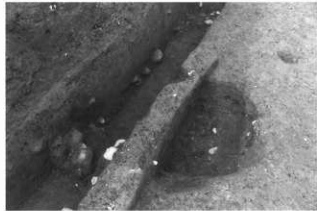
(1) SD02 土層 (西より)



(2) SD03 西壁土層 (北東より)



(3) SD03 (南西より)



(4) SP11 (東より)



(5) SK01・南側ピット (南より)

図版4 祈祷院・小石原遺跡4



(1) 祈祷院・小石原遺跡2区全景



(2) 2区西壁土層（東より）



(1) SK01 (第 13 図 1)



(2) SK01 (第 13 図 2)



(3) SK01 (第 13 図 3)



(4) SK01 (第 13 図 4)



(5) SK02 (第 13 図 5)



(6) SK02 (第 13 図 6)



(7) SK02 (第 13 図 7)



(8) SK02 (第 13 図 8)



(1) SD01 (第 13 図 9)



(2) SD01 (第 13 図 10)



(3) SD01 (第 13 図 11)



(4) SD01 (第 13 図 12)



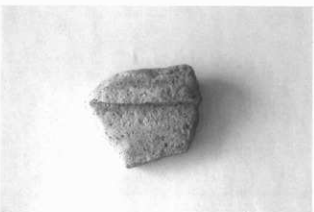
(5) SD01 (第 13 図 13)



(6) SD01 (第 13 図 14)



(7) SD01 (第 13 図 15)



(8) SD01 (第 13 図 16)



(1) SD01 (第 13 図 17)



(2) SD01 (第 13 図 18)



(3) SD01 (第 13 図 19)



(4) SD01 (第 13 図 20)



(5) SD01 (第 13 図 21)



(6) SD01 (第 13 図 22)



(7) SD01 (第 13 図 23)



(8) SD01 (第 13 図 24)

図版 8 祈禱院・小石原遺跡出土遺物 4



(1) SD01 (第13図25)



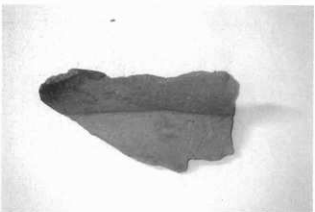
(2) SD02 (第13図26)



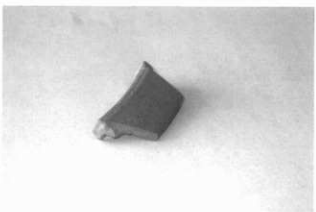
(3) SD03 (第13図27)



(4) SD03 (第13図28)



(5) SD03 (第13図29)



(6) SP01 (第13図30)



(7) 2区 SP02 (第13図31)



(8) SP04 (第13図32)



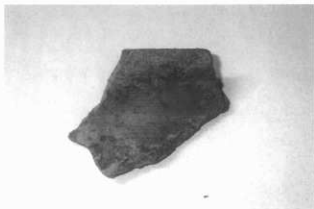
(1) SP06 (第13図33)



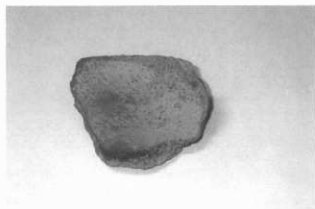
(2) SP06 (第13図34)



(3) SP06 (第13図35)



(4) SP08 (第13図36)



(5) SP11 (第13図37)



(6) SP11 (第13図38)



(7) SP11 (第13図39)



(8) SP11 (第13図40)



(1) SP11 (第13図41)



(2) SP11 (第13図42)



(3) SP11 (第13図43)



(4) SP12 (第13図44)



(5) SP14 (第14図1)



(6) SP16 (第14図2)



(7) SP17 (第14図3)



(8) SP18 (第14図4)



(1) SP18 (第 14 図 5)



(2) SP19 (第 14 図 6)



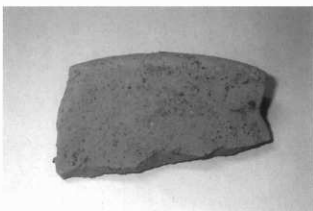
(3) Wトレ A2 (第 14 図 7)



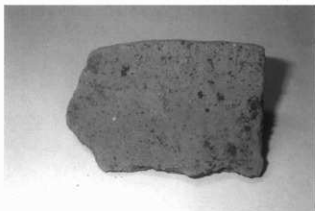
(4) Wトレ A2 (第 14 図 8)



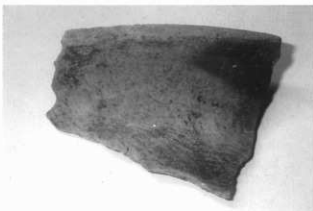
(5) Wトレ A2 (第 14 図 9)



(6) Wトレ A2 (第 14 図 10)



(7) Wトレ A2 (第 14 図 11)



(8) Wトレ A2 (第 14 図 12)



(1) Wトレ A2 (第 14 図 13)



(2) Wトレ A2 (第 14 図 14)



(3) Wトレ A2 (第 14 図 15)



(4) Wトレ A2 (第 14 図 16)



(5) Wトレ A2 (第 14 図 17)



(6) Wトレ A2 (第 14 図 18)



(7) Wトレ A2 (第 14 図 19)



(8) Wトレ A2 (第 14 図 20)



(1) WトレA2 (第14図21)



(2) WトレA2 (第14図22)



(3) WトレA2 (第14図23)



(4) WトレA2 (第14図24)



(5) WトレA2 (第14図25)



(6) WトレA2 (第14図26)



(7) WトレA2 (第14図27)



(8) WトレA2 (第14図28)



(1) Wトレ A2 (第14図29)



(2) Wトレ A2 (第14図30)



(3) Wトレ A2 (第14図31)



(4) Wトレ A2 (第14図32)



(5) Wトレ A2 (第14図33)



(6) Wトレ A2 (第14図34)



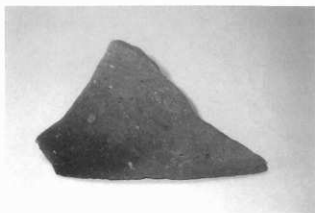
(7) Wトレ A2 (第14図35)



(8) Wトレ A2 (第14図36)



(1) Wトレ A2 (第14図37)



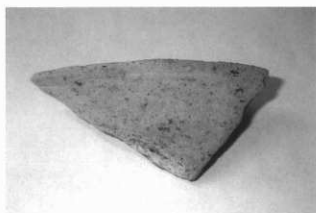
(2) Wトレ A2 (第14図38)



(3) Wトレ A2 (第14図39)



(4) Wトレ A2 (第14図40)



(5) Wトレ A2 (第14図41)



(6) Wトレ A2 (第14図42)



(7) Wトレ A2 (第14図43)



(8) Wトレ A2 (第14図44)



(1) Wトレ A2 (第14図45)



(2) Wトレ A2 (第14図46)



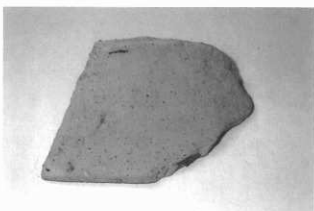
(3) Wトレ A2 (第14図47)



(4) Wトレ A2 (第14図48)



(5) Wトレ A2 (第14図49)



(6) Wトレ A2 (第14図50)



(7) Wトレ A2 (第14図51)



(8) Wトレ A2 (第14図52)



(1) Wトレ A2 (第14図53)



(2) Wトレ A3 (第15図1)



(3) Wトレ A3 (第15図2)



(4) Wトレ A3 (第15図3)



(5) Wトレ A3 (第15図4)



(6) トレンチ A3 (第15図5)



(7) トレンチ A3 (第15図6)



(8) トレンチ A3 (第15図7)



(1) トレンチ A3 (第 15 図 8)



(2) トレンチ A3 (第 15 図 9)



(3) トレンチ A3 (第 15 図 10)



(4) A1 (第 15 図 11)



(5) A1 (第 15 図 12)



(6) A1 (第 15 図 13)



(7) A2 (第 15 図 14)



(8) A2 (第 15 図 15)



(1) A2 (第15図16)



(2) A3 下層 (第15図17)



(3) A3 下層 (第15図18)



(4) A3 下層 (第15図19)



(5) A3 (第15図20)



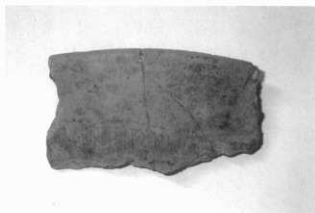
(6) A3 (第15図21)



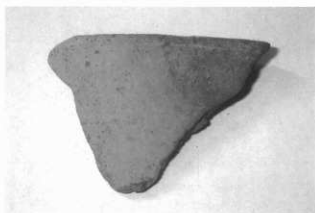
(7) A 灰層 (第15図22)



(8) A 灰層 (第15図23)



(1) A 灰層 (第 15 図 24)



(2) A 灰層 (第 15 図 25)



(3) A 灰層 (第 15 図 26)



(4) A 灰層 (第 15 図 27)



(5) A 灰層 (第 15 図 28)



(6) A 灰層 (第 15 図 29)



(7) A 灰層 (第 15 図 30)



(8) A 灰層 (第 15 図 31)



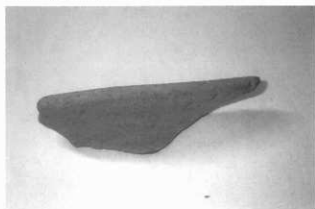
(1) A 灰層 (第 15 図 32)



(2) A 灰層 (第 15 図 33)



(3) A 灰層 (第 15 図 34)



(4) A 灰層 (第 15 図 35)



(5) A 灰層 (第 15 図 36)



(6) A 灰層 (第 15 図 37)



(7) A 灰層 (第 15 図 38)



(8) A 灰層 (第 15 図 39)



(1) A 灰層 (第 15 図 40)



(2) A 灰層 (第 15 図 41)



(3) A 灰層 (第 15 図 42)



(4) A 灰層 (第 15 図 43)



(5) A 灰層 (第 15 図 44)



(6) A 灰層 (第 15 図 45)



(7) A 灰層 (第 15 図 46)



(8) A 灰層 (第 15 図 47)



(1) A 灰層 (第 15 図 48)



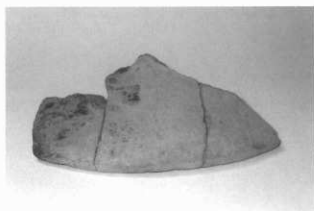
(2) A 灰層 (第 15 図 49)



(3) A 灰層 (第 15 図 50)



(4) A 灰層 (第 16 図 1)



(5) A 灰層 (第 16 図 2)



(6) A 灰層 (第 16 図 3)



(7) A 灰層 (第 16 図 4)



(8) A 灰層 (第 16 図 5)



(1) A 灰層第 16 図 6



(2) Wトレ B1 (第 16 図 7)



(3) Wトレ B1 (第 16 図 8)



(4) Wトレ B1 (第 16 図 9)



(5) Wトレ B1 (第 16 図 10)



(6) Wトレ B1 (第 16 図 11)



(7) Wトレ B1 (第 16 図 12)



(8) トレンチ B1 (第 16 図 13)



(1) WトレB2 (第16図14)



(2) WトレB2 (第16図15)



(3) WトレB2 (第16図16)



(4) WトレB2上層 (第16図17)



(5) WトレB2上層 (第16図18)



(6) WトレB2上層 (第16図19)



(7) WトレB2上層 (第16図20)



(8) EトレB3 (第16図21)



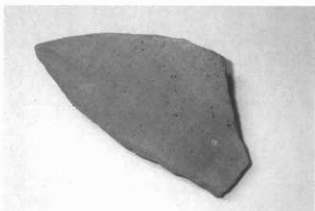
(1) Wトレ B4 下層 (第16図22)



(2) Wトレ B4 (第16図23)



(3) Wトレ B4 (第16図24)



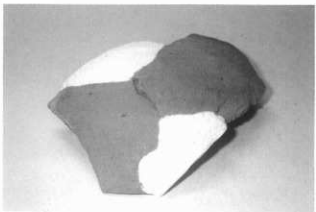
(4) B1 (第16図25)



(5) B1 (第16図26)



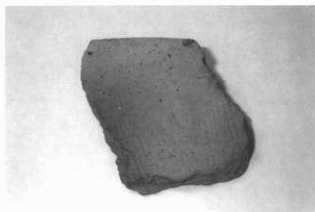
(6) B2 (第16図27)



(7) B2 (第16図28)



(8) B2 (第16図29)



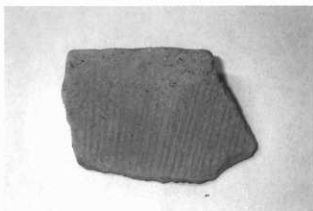
(1) B2 (第16図30)



(2) B2 (第16図31)



(3) B黄層 (第16図32)



(4) B黄層 (第16図33)



(5) B黄層 (第16図34)



(6) B黄層 (第16図35)



(7) WトレC1 (第16図36)



(8) WトレC1 (第16図37)



(1) WトレC1 (第16図38)



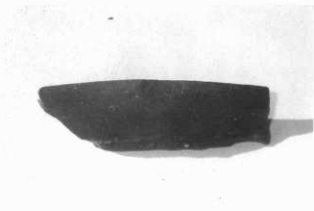
(2) WトレC1 (第16図39)



(3) WトレC1 (第16図40)



(4) WトレC1 (第16図41)



(5) WトレC1 (第16図42)



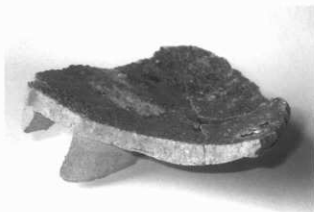
(6) WトレC1 (第16図43)



(7) WトレC1 (第16図44)



(8) WトレC1 (第16図45)



(1) トレンチ C1 (第 16 図 46)



(2) WトレC2 (第 16 図 47)



(3) WトレC2 (第 17 図 1)



(4) WトレC2 (第 17 図 2)



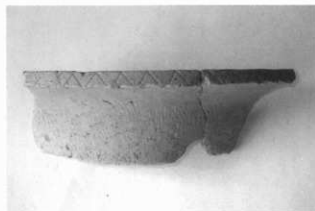
(5) WトレC2 (第 17 図 3)



(6) WトレC2 (第 17 図 4)



(7) WトレC2 (第 17 図 5)



(8) WトレC2 (第 17 図 6)



(1) WトレC2 (第17図7)



(2) EトレC3 (第17図8)



(3) EトレC3 (第17図9)



(4) EトレC3 (第17図10)



(5) EトレC3 (第17図11)



(6) EトレC3 (第17図12)



(7) EトレC3 (第17図13)



(8) 攪乱C3 (第17図14)



(1) WトレC4 (第17図15)



(2) WトレC4 (第17図16)



(3) WトレC4 (第17図17)



(4) WトレC4 (第17図18)



(5) C黄層 (第17図19)



(6) C黄層 (第17図20)



(7) C黄層 (第17図21)



(8) C黄層 (第17図22)



(1) C 黄層 (第 17 図 23)



(2) C 黄層 (第 17 図 24)



(3) C 黄層 (第 17 図 25)



(4) C 黄層 (第 17 図 26)



(5) C 黄層 (第 17 図 27)



(6) C 黄層 (第 17 図 28)



(7) C 黄層 (第 17 図 29)



(8) C 黄層 (第 17 図 30)



(1) C 黄層 (第 17 図 31)



(2) C 黄層 (第 17 図 32)



(3) C 黄層 (第 17 図 33)



(4) C 黄層 (第 17 図 34)



(5) C 黄層 (第 17 図 35)



(6) C 黄層 (第 17 図 36)



(7) C 黄層 (第 17 図 37)



(8) C 黄層 (第 17 図 38)



(1) C 黄層 (第 17 図 39)



(2) C 黄層 (第 17 図 40)



(3) C 黄層 (第 17 図 41)



(4) C 砂層 (第 17 図 42)



(5) C 砂層 (第 17 図 43)



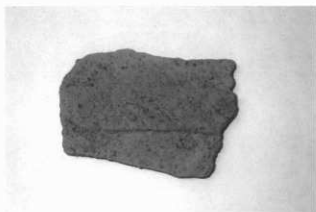
(6) C 砂層 (第 17 図 44)



(7) W トレ D2 下層 (第 17 図 45)



(8) W トレ D2 下層 (第 17 図 46)



(1) WトレD2下層 (第17図47)



(2) WトレD2下層 (第17図48)



(3) WトレD2下層 (第17図49)



(4) WトレD2 (第17図50)



(5) WトレD2 (第17図51)



(6) WトレD2 (第17図52)



(7) WトレD2 (第17図53)



(8) WトレD2 (第17図54)



(1) Wトレ D2 (第17図 55)



(2) Wトレ D2 (第17図 56)



(3) Wトレ D2 (第17図 57)



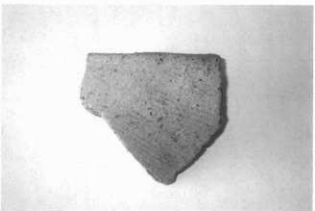
(4) トレンチ D2 黄層 (第17図 58)



(5) トレンチ D2 黄層 (第17図 59)



(6) トレンチ D2 黄層 (第17図 60)



(7) トレンチ D2 黄層 (第17図 61)



(8) トレンチ D2 黄層 (第17図 62)



(1) トレンチ D3 (第 17 図 63)



(2) トレンチ D3 (第 17 図 64)



(3) WトレD4 (第 18 図 1)



(4) WトレD4 (第 18 図 2)



(5) WトレD4 (第 18 図 3)



(6) WトレD4 (第 18 図 4)



(7) WトレD4 (第 18 図 5)



(8) WトレD4 (第 18 図 6)



(1) WトレD4 (第18図7)



(2) WトレD4 (第18図8)



(3) WトレD4 (第18図9)



(4) D2黄層 (第18図10)



(5) D2黄層 (第18図11)



(6) D2黄層 (第18図12)



(7) D2黄層 (第18図13)



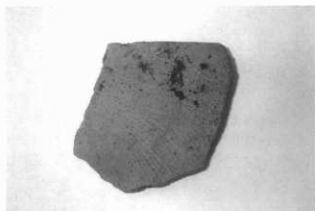
(8) D2黄層 (第18図14)



(1) D2 黄層 (第 18 図 15)



(2) D2 黄層 (第 18 図 16)



(3) D2 黄層 (第 18 図 17)



(4) D2 黄層 (第 18 図 18)



(5) D2 黄層 (第 18 図 19)



(6) D2 黄層 (第 18 図 20)



(7) D2 黄層 (第 18 図 21)



(8) D2 黄層 (第 18 図 22)



(1) D2 黄層 (第 18 図 23)



(2) D2 黄層 (第 18 図 24)



(3) D2 黄層 (第 18 図 25)



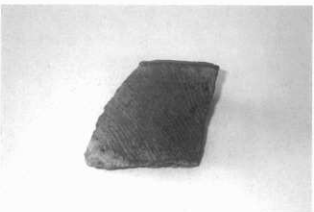
(4) D2 黄層 (第 18 図 26)



(5) D2 黄層 (第 18 図 27)



(6) D2 (第 18 図 28)



(7) D3 (第 18 図 29)



(8) D3 (第 18 図 30)



(1) E 黄層 (第 18 図 31)



(2) E 黄層 (第 18 図 32)



(3) E 黄層 (第 18 図 33)



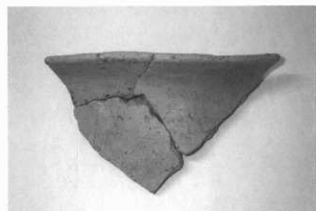
(4) E 黄層 (第 18 図 34)



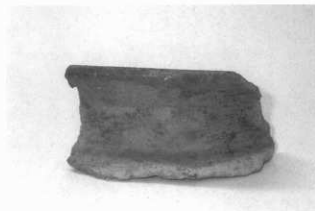
(5) E 黄層 (第 18 図 35)



(6) E 黄層 (第 18 図 36)



(7) E 黄層 (第 18 図 37)



(8) E 黄層 (第 18 図 38)



(1) E 黄層 (第 18 図 40)



(2) E 黄層 (第 18 図 41)



(3) E 黄層 (第 18 図 42)



(4) E 黄層 (第 18 図 43)



(5) E 黄層 (第 18 図 44)



(6) E 黄層 (第 18 図 45)



(7) E 黄層 (第 18 図 46)



(8) E 黄層 (第 18 図 47)



(1) E黄層 (第18図48)



(2) E黄層 (第18図49)



(3) E黄層 (第18図50)



(4) E黄層 (第18図51)



(5) E黄層 (第18図52)



(6) E黄層 (第18図53)



(7) E黄層 (第18図54)



(8) トレンチE (第19図1)



(1) トレンチ E (第 19 図 2)



(2) 撈乱 (第 19 図 3)



(3) 撈乱 (第 19 図 4)



(4) 撈乱 (第 19 図 5)



(5) 撈乱 (第 19 図 6)



(6) 2区下層 (第 19 図 7)



(7) 2区下層 (第 19 図 8)



(8) 2区下層 (第 19 図 9)



(1) 2区下層 (第19図10)



(2) 2区下層 (第19図11)



(3) 2区下層 (第19図12)



(4) 2区下層 (第19図13)



(5) 2区下層 (第19図14)



(6) 2区最下層 (第19図15)



(7) 2区最下層 (第19図16)



(8) 2区最下層 (第19図17)



(1) 2区最下層 (第19図18)



(2) 2区最下層 (第19図19)



(3) 2区最下層 (第19図20)



(4) 2区最下層 (第19図21)



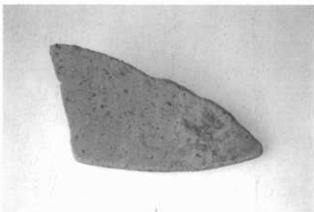
(5) 2区排土中 (第19図22)



(6) 2区排土中 (第19図23)



(7) 2区排土中 (第19図24)



(8) 2区排土中 (第19図25)

報 告 書 抄 録

ふりがな	きとういん・こいしわらいせき							
書 名	折神院・小石原遺跡 1							
副 書 名	福岡県八女市本村所在遺跡の発掘調査報告書							
巻 次								
シリーズ名	八女市文化財調査報告書							
シリーズ号	第 135 集							
編 著 者 名	甲斐 郁 (かい ふみ)							
編 集 機 関	八女市教育委員会							
所 在 地	〒 834-8585 福岡県八女市本町 6 4 7 TEL. 0943-23-1982 FAX. 0943-24-4331							
発 行 年 月 日	西暦 2022 (令和 4) 年 3 月 31 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
きとういん・こいしわらいせき 折神院・小石原遺跡 第 1 次調査 1 区 (折神院遺跡群)	ふくおかけんやめし 福岡県八女市 きとういんあざこいしわら 折神院字小石原	402109	403002	33° 12' 49"	130° 35' 7"	20191119 ~ 20200221	約 300 m ²	道路改良工事
きとういん・こいしわらいせき 折神院・小石原遺跡 第 1 次調査 2 区 (折神院遺跡群)	福岡県八女市 きとういんあざこいしわら 折神院字小石原	402109	403002	33° 12' 51"	130° 35' 6"	20200826 ~ 20200828	約 25 m ²	道路改良工事
所収遺跡	種 別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
折神院・小石原遺跡 第 1 次調査 (折神院遺跡群)	集 落 跡	弥生時代 古墳時代		石棺墓 1 基 溝状遺構 4 条 土坑 4 基 ピット 79 基		弥生土器・土師器・須恵 器・陶磁器・石器		
要 約	県道久留米立花線の改良工事に伴い発掘調査を実施した。折神院・小石原遺跡に関する報告である。 折神院・小石原遺跡は矢部川と星野川が合流する地点の北西に位置する。調査地は 1・2 区に分かれ、1 区では石棺墓、溝跡、土坑、ピットを発見し、2 区では自然流路とピットを発見した。調査区の表土下層の下位に堆積する砂層からは器表面が摩滅する土器片が多数出土しており、過去に繰り返し洪水が発生していた証左である。この洪水堆積の下位からも遺構が発見されることから、調査地では洪水被害が繰り返し発生しながらも、墓域や集落域が形成されたことが伺える。							

※座標は世界測地系による。国土地理院ホームページの地図検索システムより得たものであり、基準点測量によって得た値ではない。

祈祷院・小石原遺跡 1

八女市文化財調査報告書

第135集

令和4年3月31日

発行 八女市教育委員会

八女市本町647

印刷 (株) 東兄弟

八女市祈祷院563